

ISO 39001取得事業者アンケート 報告書

2014年3月

独立行政法人自動車事故対策機構

目 次

I 調査の概要	1
II 回答者の属性	
1. 業種	2
2. ISO 39001 適用範囲	3
3. 従業員数	4
4. 使用車両数	5
5. 年間販売金額	6
III 主要調査結果	
1. ISO 39001 認知時期	7
2. ISO 39001 認知情報源と取得のきっかけ	8
3. ISO 39001 認知時点の判断	9
4-1. ISO 39001 準備時期、取得時期	10
4-2. ISO 39001 取得までの期間	11
5-1. コンサルタントの支援	12
5-2. 費用（コンサルタント料を含む）	13
6. ISO 39001以外の認証取得	14
7. ISO 39001取得前の期待 全体	15
8-1. ISO 39001システム構築の難易度（1）全体	16
8-2. ISO 39001システム構築の難易度（2）属性別	17
9-1. ISO 39001認証取得ピアール	18
9-2. ISO 39001認証取得ピアール効果	19
9-3. ISO 39001認証取得ピアール効果【具体的な効果】	20
10-1. ISO 39001取得効果（1）全体	21
10-2. ISO 39001取得効果（2）事前期待との比較	22
11-1. ISO 39001効果具体例（1）【交通事故】	23-24
11-2. ISO 39001効果具体例（2）【損害保険料】	25-26
11-3. ISO 39001効果具体例（3）【既存取引先】	27-28
11-4. ISO 39001効果具体例（4）【新規取引先】	29-30
11-5. ISO 39001効果具体例（5）【社内コミュニケーション】	31-32
11-6. ISO 39001効果具体例（6）【トップマネジメント】	33-34
11-7. ISO 39001効果具体例（7）【その他】	35
12. ISO 39001ご意見、ご要望	36
（付）調査票	37

I 調査の概要

1. 調査の目的

「道路交通安全の分野に標準化された道路交通安全マネジメントシステムを導入する必要性」は個々の事業レベルや安全性の向上に大いに資するものと考えられ、ISO 39001のさらなる普及拡大が期待されるところである。

しかしながら、ISOの認証取得や維持のためには、相応の手間やコストも必要とされ、組織に過大な負担が生じているとの報告もある。

このような観点から、ISO/TC241国内審議委員会事務局である独立行政法人自動車事故対策機構は、今後のISO 39001の普及拡大に向けた対応を図るため、ISO 39001認証取得事業者様にISO 39001の効果および課題等に係る実態を定量的に把握することを目的とした調査を行うこととした。

2. 調査項目

- ・ 組織の概要（事業者名、所在地、担当者名、連絡先など）
- ・ 組織の業種
- ・ 組織の規模、適用範囲の規模
- ・ 構築期間、コンサルタントの支援
- ・ ISO 39001 の取得目的
- ・ ISO 39001 の運用状況
- ・ ISO 39001 の取得効果
(事故件数の減少、従業員の意識の向上、修繕費の減少、支払保険料の減少など)

3. 調査対象

平成24年10月より平成26年2月末までの間にISO 39001の認証を取得された事業者54社を対象に実施した。

4. 調査票の配付

1) 調査方法

調査票の郵送配付・郵送回収・不明点については電話確認

2) 調査期間

平成 26 年 2 月 14 日から平成 26 年 3 月 14 日まで（投函締切は 2 月 28 日）

3) 回収状況

調査票発送数： 54件

回 収 数： 42件（回収率 77.8%）

Ⅱ 回答者の属性

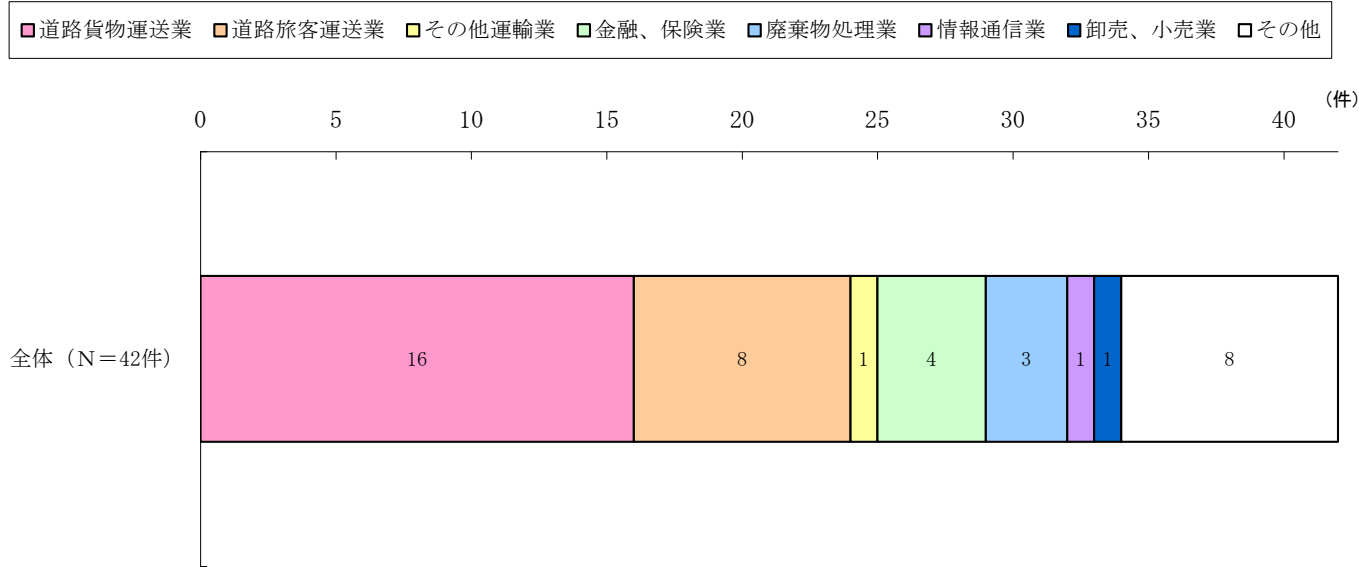
1. 業種

業種（単回答）については、42事業者からの回答の中で「道路貨物運送業」が16件（38.1%）、「道路旅客運送業」が8件（19.0%）、「その他」が8件（19.0%）、「金融、保険業」が4件（9.5%）、「廃棄物処理業」が3件（7.1%）となっている。「その他」の内訳はコンサルティング業、サービス業が各2件、商社、自動車学校など多岐に渡る。

「運送業」と「白ナンバー＋その他」に分類すると、運送業（その他含む）が25件（59.5%）、「白ナンバー＋その他」が17件（40.5%）となった。

業種別のコンサルタントの支援有無およびISO 39001以外の認証有無別は下記の通りである。

＜業種別＞



＜業種別 コンサルタント支援／ISO 39001以外認証の有無別＞

（単回答：数字は件数）	道路貨物運送業	道路旅客運送業	その他運輸業	金融、保険業	廃棄物処理業	情報通信業	卸売、小売業	その他
全体（N＝42件）	16	8	1	4	3	1	1	8
コンサルタント支援あり（n＝33件）	11	6	1	4	3	1	1	6
コンサルタント支援なし（n＝9件）	5	2	0	0	0	0	0	2
ISO 39001以外認証あり（n＝28件）	10	5	1	3	3	1	1	4
ISO 39001以外認証なし（n＝14件）	6	3	0	1	0	0	0	4

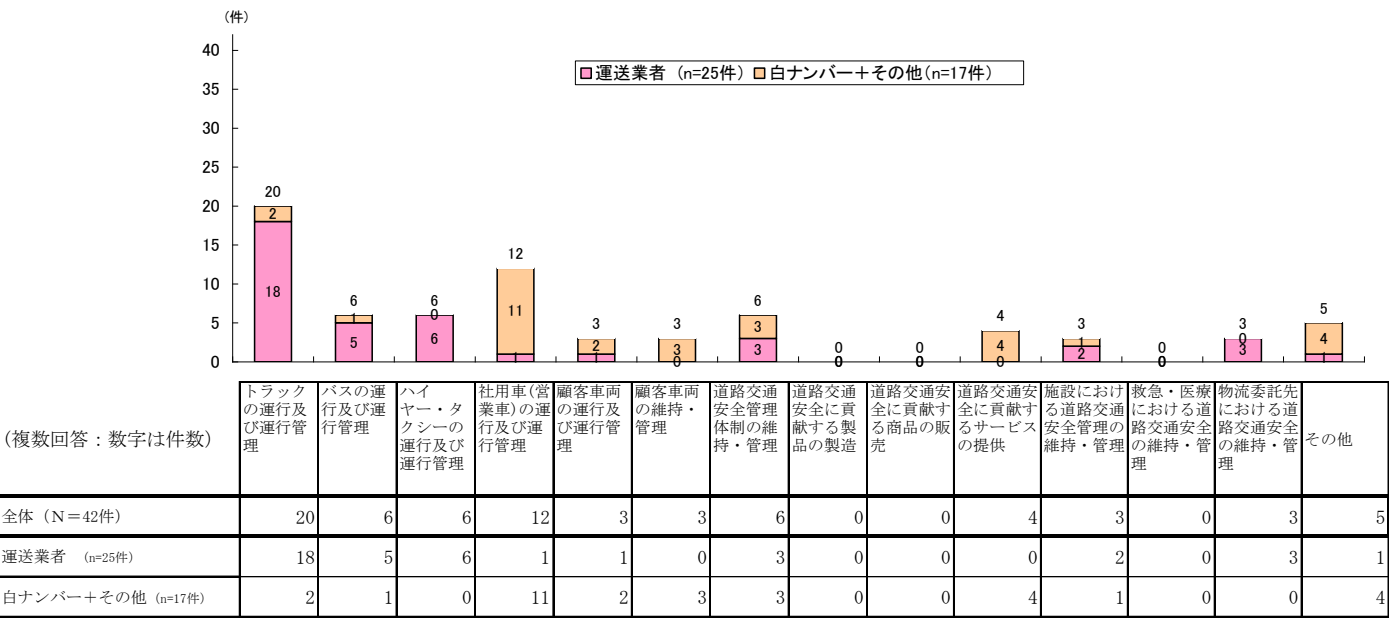
2. ISO 39001 適用範囲

ISO 39001の適用範囲（複数回答）については、大半の取得事業者が「事業用自動車（バス、トラック、タクシー）の運行及び運行管理」、「社用車（営業者）の運行及び運行管理」となっている。

車両を運行する事業者以外が、取得するケースはまだ少数である。

「運送業」と「白ナンバー＋その他」では、適用範囲が異なることが分かる。

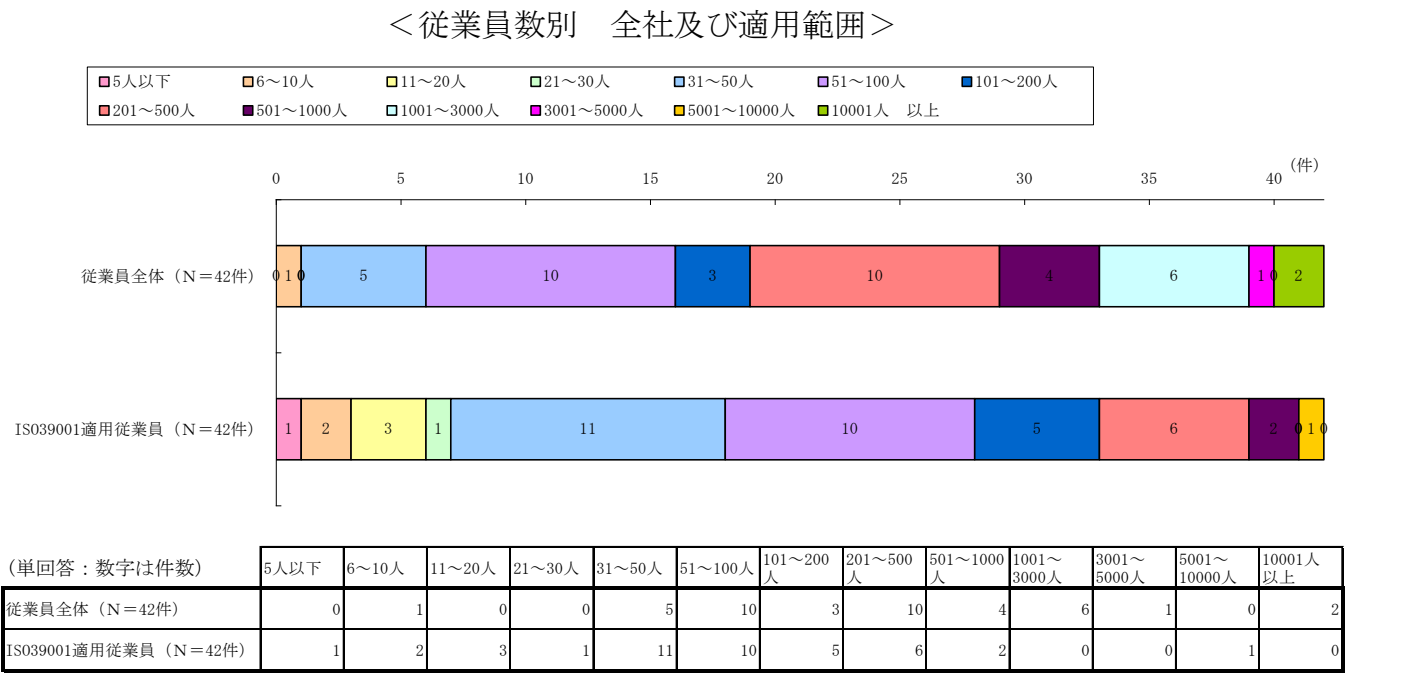
＜属性別 適用範囲＞



3. 従業員数

従業員数（単回答）については、42事業者からの回答の中で、「51～100人」と「201～500人」が各10件(23.8%)、「1001～3000人」が6件(14.3%)となっている。業種が異なるため一概には言えないが、従業員数だけを見ると取得事業者の規模にはバラつきが見られた。

ISO 39001の適用範囲の従業員数(単回答)については、42件中「31～50人」が11件(26.2%)、以下「51～100人」が10件(23.8%)、「201人～500人」が6件(14.3%)となった。多くの取得事業者が、ISO 39001の適用範囲の従業員を限定していることがうかがえる。

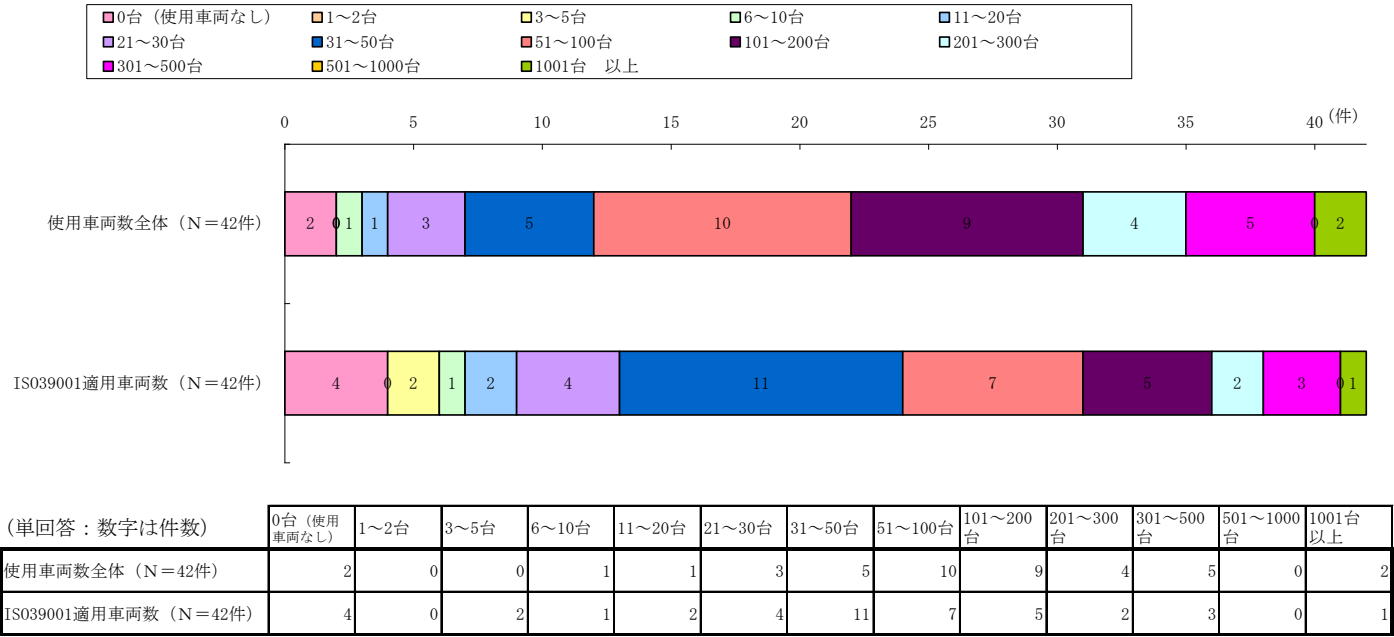


4. 使用車両数

使用車両数（単回答）については、42事業者からの回答の中で、「51～100台」が10件(23.8%)、「101～200台」が9件(21.4%)、「31～50台」と「301～500台」が5件(11.9%)となっている。

ISO 39001の適用範囲の車両数（単回答）については、42事業者からの回答の中で、「31～50台」が11件(26.2%)、「51～100台」が7件(16.7%)、「101～200台」が5件(11.9%)となった。多くの取得事業者が、ISO 39001の適用範囲の使用車両数を限定している。

<使用車両数別 全社及び適用範囲>

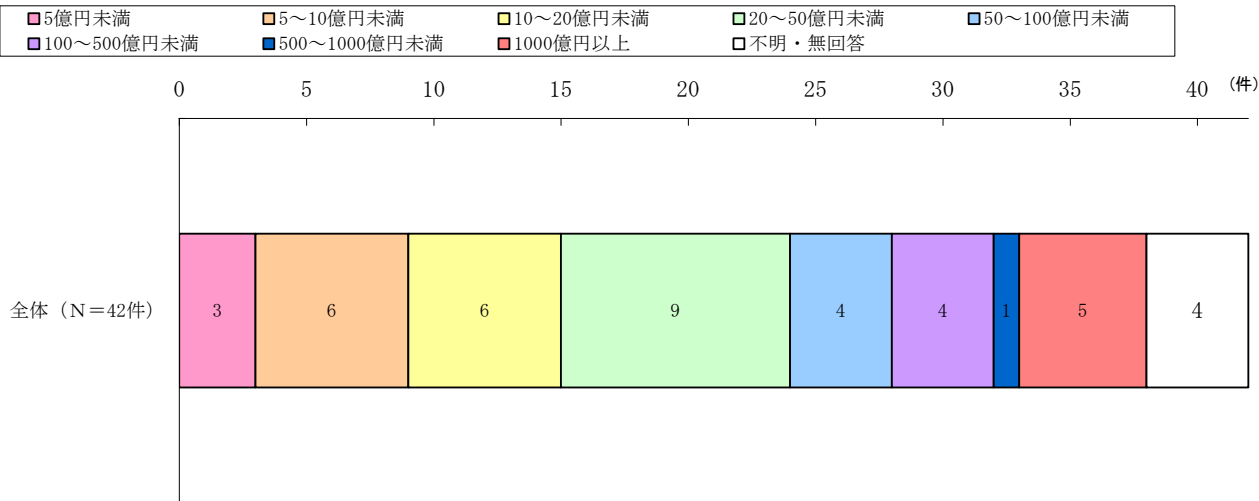


5. 年間販売金額

年間販売金額（単回答）については、42事業者からの回答の中で、「20～50億円未満」が9件(21.4%)、「5～10億円未満」と「10～20億円未満」が各6件(14.3%)、「1000億円以上」が5件(11.9%)となっている。従業員数の項目と同様に、取得事業者の規模にはバラつきが見られる。

年間販売金額をコンサルタントの支援有無およびISO 39001以外の認証有無別の結果は下記の通りである。

＜年間販売金額＞



＜年間販売金額別 コンサルタント支援／ISO 39001以外認証の有無別＞

(単回答：数字は件数)	5億円未満	5～10億円未満	10～20億円未満	20～50億円未満	50～100億円未満	100～500億円未満	500～1000億円未満	1000億円以上	不明・無回答
全体（N＝42件）	3	6	6	9	4	4	1	5	4
コンサルタント支援あり（n＝33件）	1	4	4	7	4	4	1	5	3
コンサルタント支援なし（n＝9件）	2	2	2	2	0	0	0	0	1
ISO 39001以外認証あり（n＝28件）	2	3	3	7	3	2	1	4	3
ISO 39001以外認証なし（n＝14件）	1	3	3	2	1	2	0	1	1

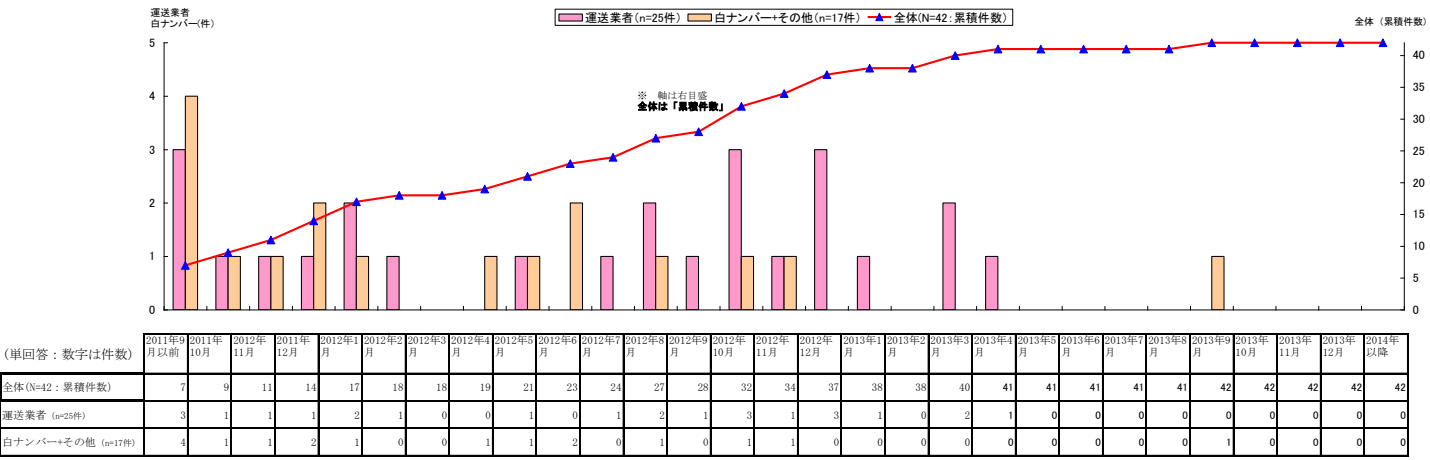
Ⅲ 主要調査結果

1. ISO 39001 認知時期

ISO 39001認知時期（単回答）については、42事業者からの回答の中で、「2011年9月以前」が7件（16.7%）、ISO 39001が発行された2012年10月より以前に認知した事業者は累計で28件（66.7%）と半数を超える。「運送業」と「白ナンバー+その他」に分類すると、運送業で25件中14件（56.0%）、白ナンバー+その他で17件中14件（82.4%）であった。

直近1年以内（2013年4月以降）に初めてISO 39001を認知した企業は1件にとどまる。

<属性別 認知時期>



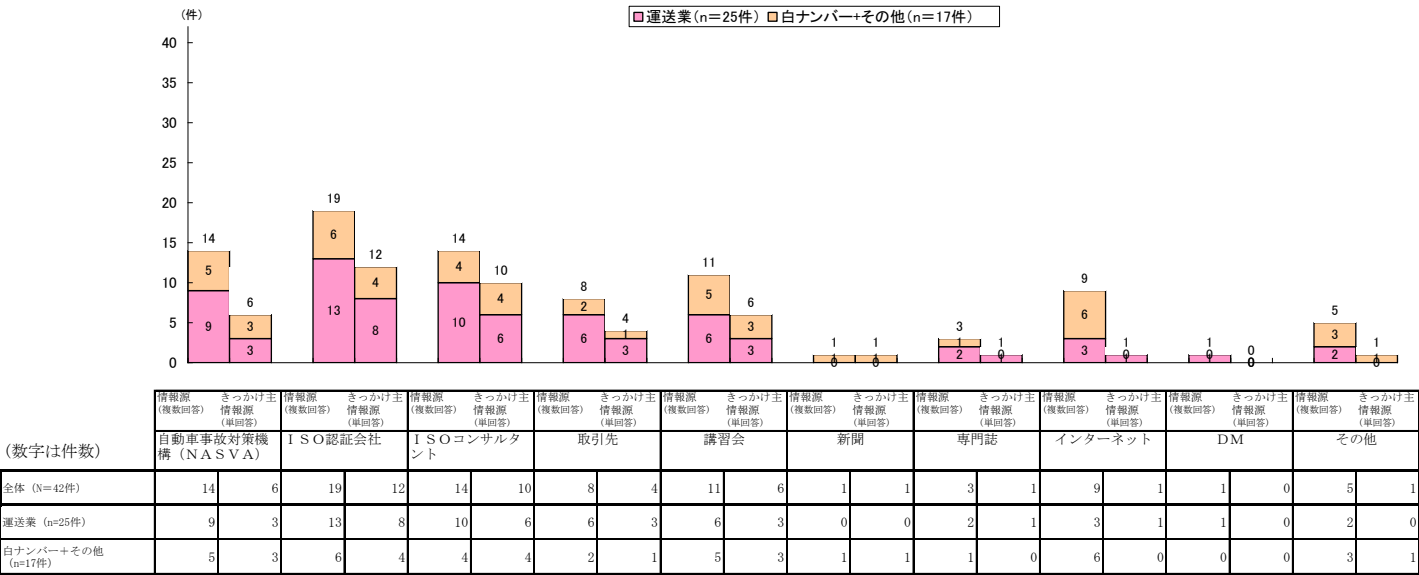
2. ISO 39001 認知情報源と取得のきっかけ

ISO 39001の認知情報源について（複数回答）は、42事業者からの回答の中で、「ISO認証会社」が19件（45. 2%）、次いで「自動車事故対策機構（NASVA）」と「ISOコンサルタント会社」が各14件（33. 3%）、「講習会」が11件（26. 2%）、「インターネット」が9件（21. 4%）となっている。

認証取得のきっかけとなった主情報源（単回答）については、42事業者からの回答の中で、「ISO認証会社」が12件（28. 6%）、「ISOコンサルタント会社」が10件（23. 8%）、「自動車事故対策機構（NASVA）」と「講習会」が各6件（14. 3%）の順である。

運送業、白ナンバー+その他別の認知情報源、取得のきっかけとなった情報源は下記の通りである。

<属性別 認知情報源及び取得のきっかけ>



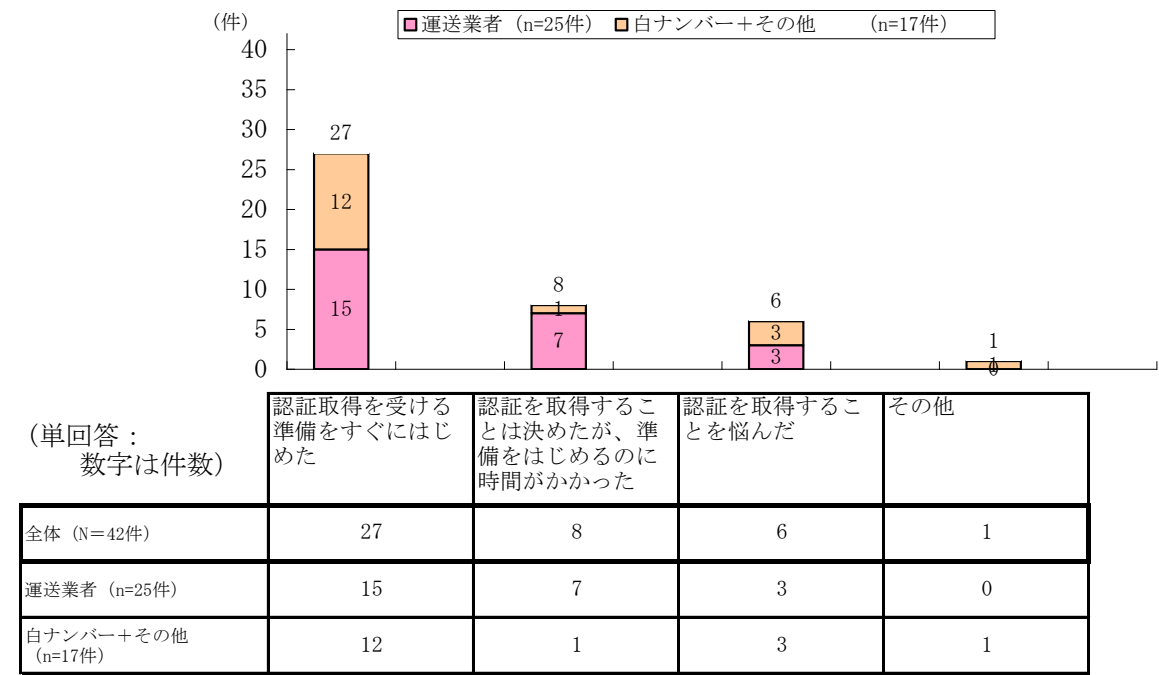
3. ISO 39001 認知時点の判断

ISO 39001認知時点での判断（単回答）については、42事業者からの回答の中で、「すぐに準備にかかった」が27件(64.3%)、「取得は決めたが、準備に時間がかかった」が8件(19.0%)、「取得に悩んだ」が6件(14.3%)であった。

運送業、白ナンバー＋その他別の認知時点の判断は下記の通りである。

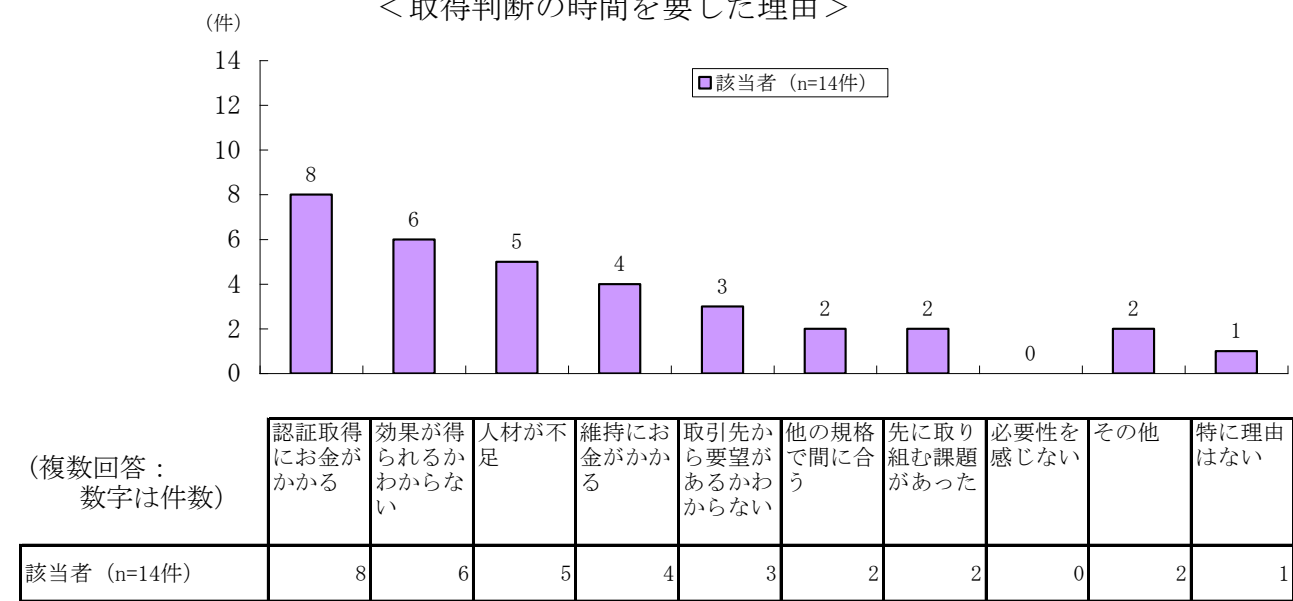
認証を取得することは決めたが、準備に時間がかかった＋取得に悩んだ理由（回答14事業者：複数回答）は、「認証取得にお金がかかる」が8件(57.1%：該当者ベース)、「効果が得られるかわからない」が6件(42.9%：該当者ベース)、「人材が不足」が5件(35.7%：該当者ベース)の順である。

＜属性別 認知時点の判断＞



時間がかかった
+悩んだ

＜取得判断の時間を要した理由＞

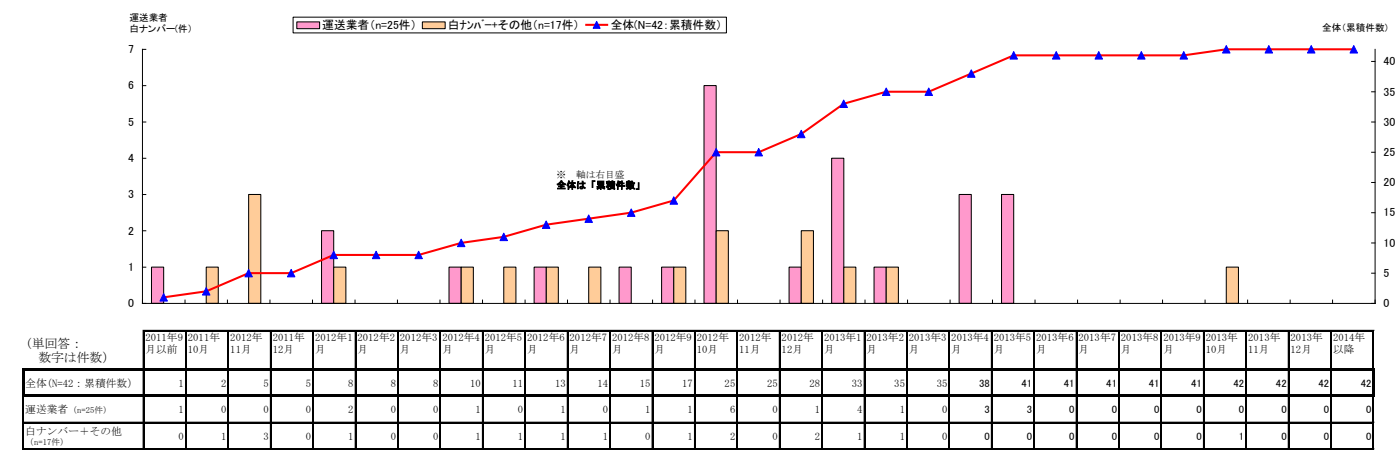


4－1．ISO 39001 準備時期、取得時期

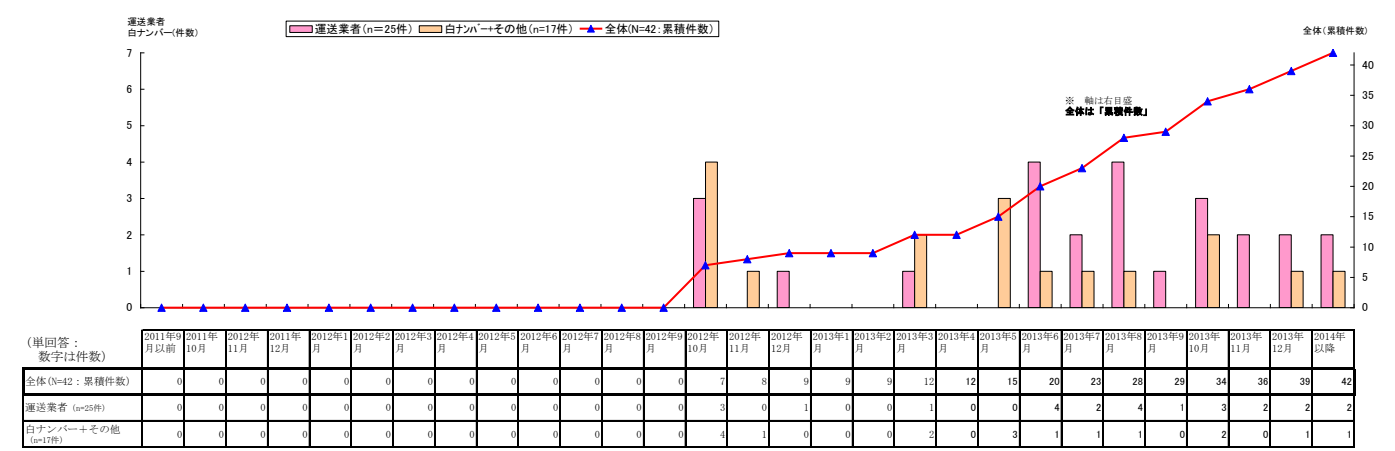
ISO 39001準備時期（単回答）については、42事業者からの回答の中で、ISO 39001が発行した「2012年10月」が8件(19.0%)、それ以前に準備をはじめた累積の割合は17件(40.5%)となっている。

ISO 39001取得時期（単回答）については、42事業者からの回答の中で、ISO 39001発行時（2012年10月）が7件(16.7%)であった。直近1年（2013年4月以降）の取得は30件(71.4%)であった。

<属性別 準備時期>



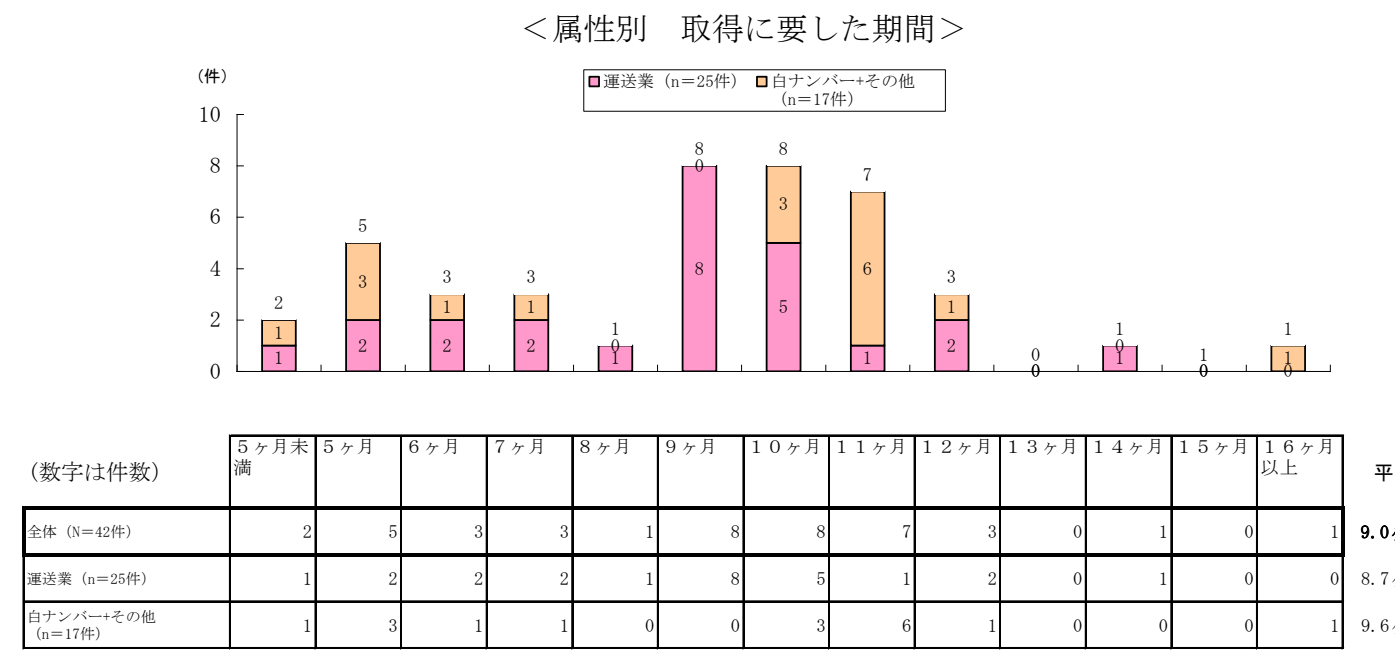
<属性別 取得時期>



4－2．ISO 39001 取得までの期間

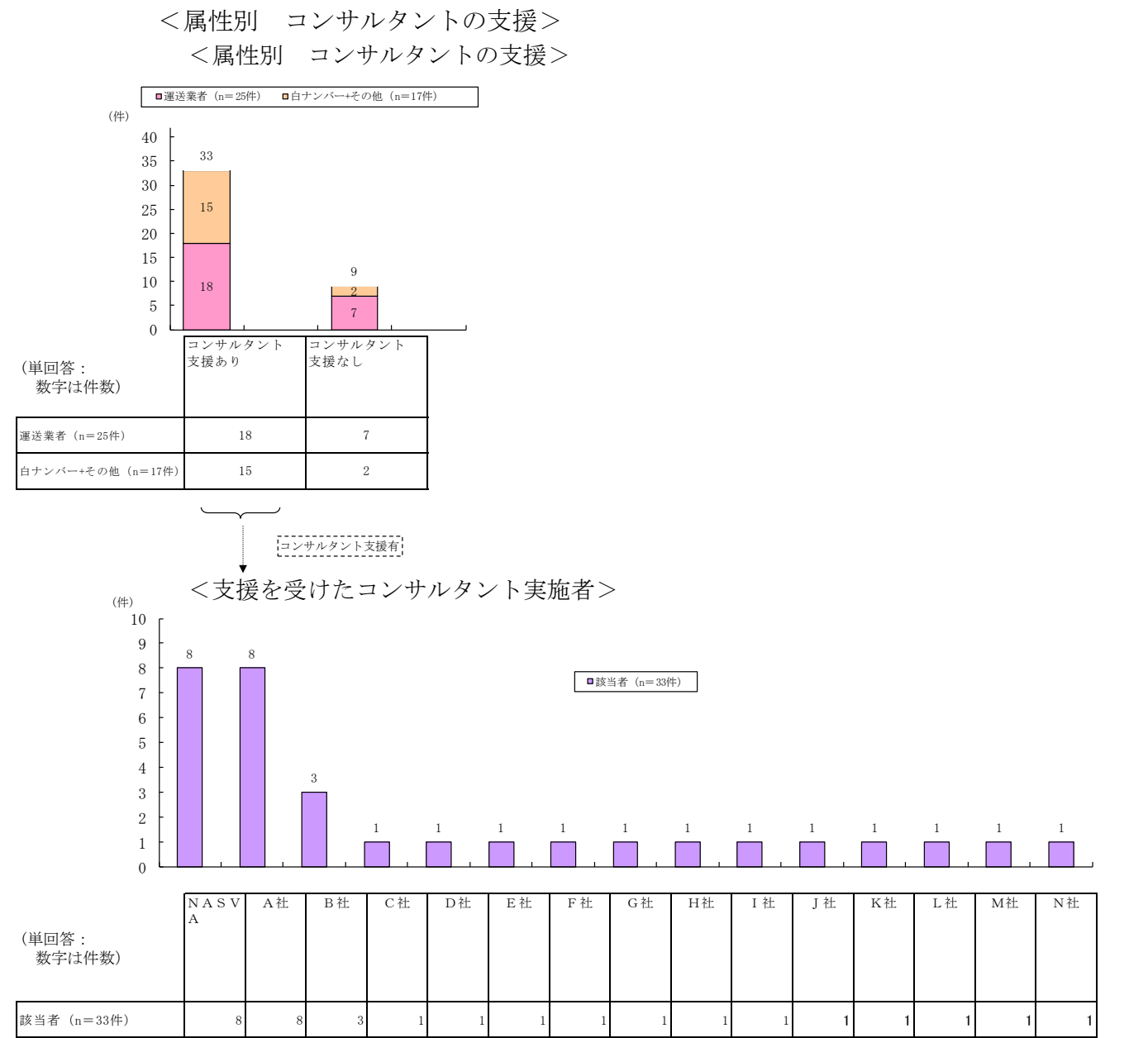
ISO 39001取得までの期間について、取得時期から準備時期を引算することにより期間を計算すると平均9ヶ月、最短2ヶ月、最長24ヶ月であった。

「運送業」と「白ナンバー+その他」に分類すると、運送業が取得するまでの期間は平均8.7ヶ月、白ナンバー+その他が取得するまでの期間は9.6ヶ月となり、運送業の方が白ナンバー+その他と比べ、取得までの期間が短かった。



5－1．コンサルタントの支援

42事業者からの回答の中で、33件(78.6%)の事業者がコンサルタントの支援を受けていた。コンサルティング実施者は、「NASVA」と「A社」の2社で、支援あり全体の半数(各8件ずつ)を占める。B社が3社のコンサルティングを実施しており、それ以外のコンサルティング実施者はそれぞれ1件ずつの実施状況であった。(それぞれ単回答)

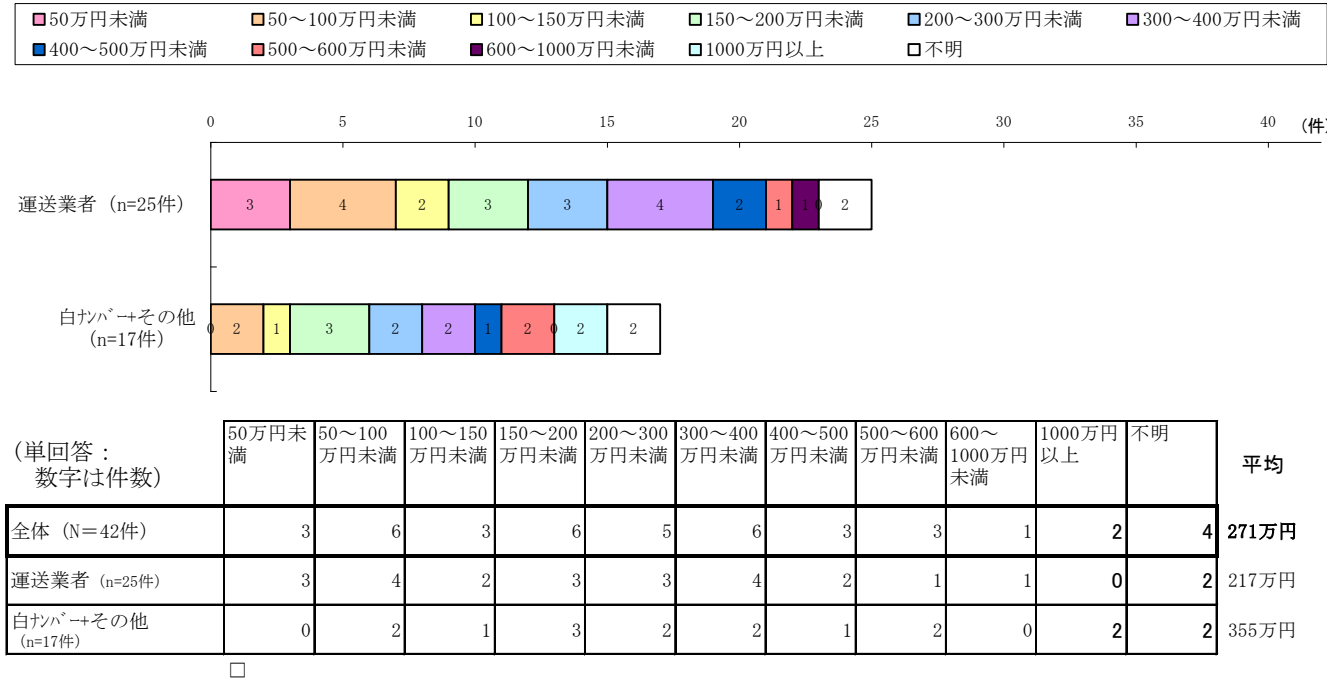


5－2．費用（コンサルタント料を含む）

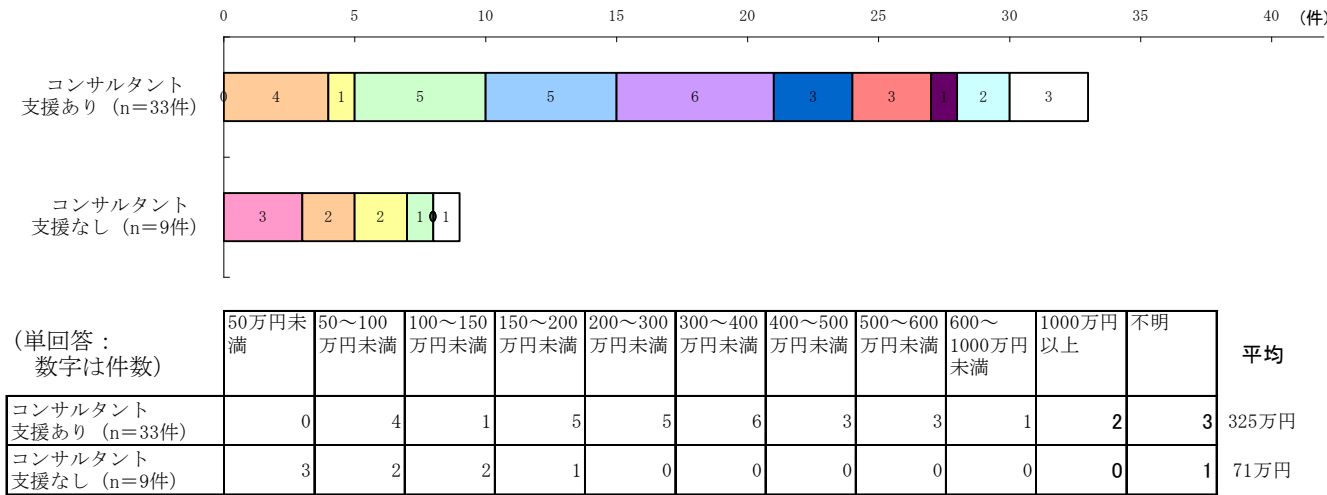
コンサルタント料を含めた費用（単回答）については、平均271万円かかっており、運送業は平均217万円、白ナンバー+その他は平均355万円となっている。

コンサルタントの支援を受けた事業者は、平均325万円となっており、コンサルタントの支援を受けていない事業者は、平均71万円の費用がかかっている。

<属性別 費用（コンサルタント料を含む）>



<コンサルタント支援有無別 費用>

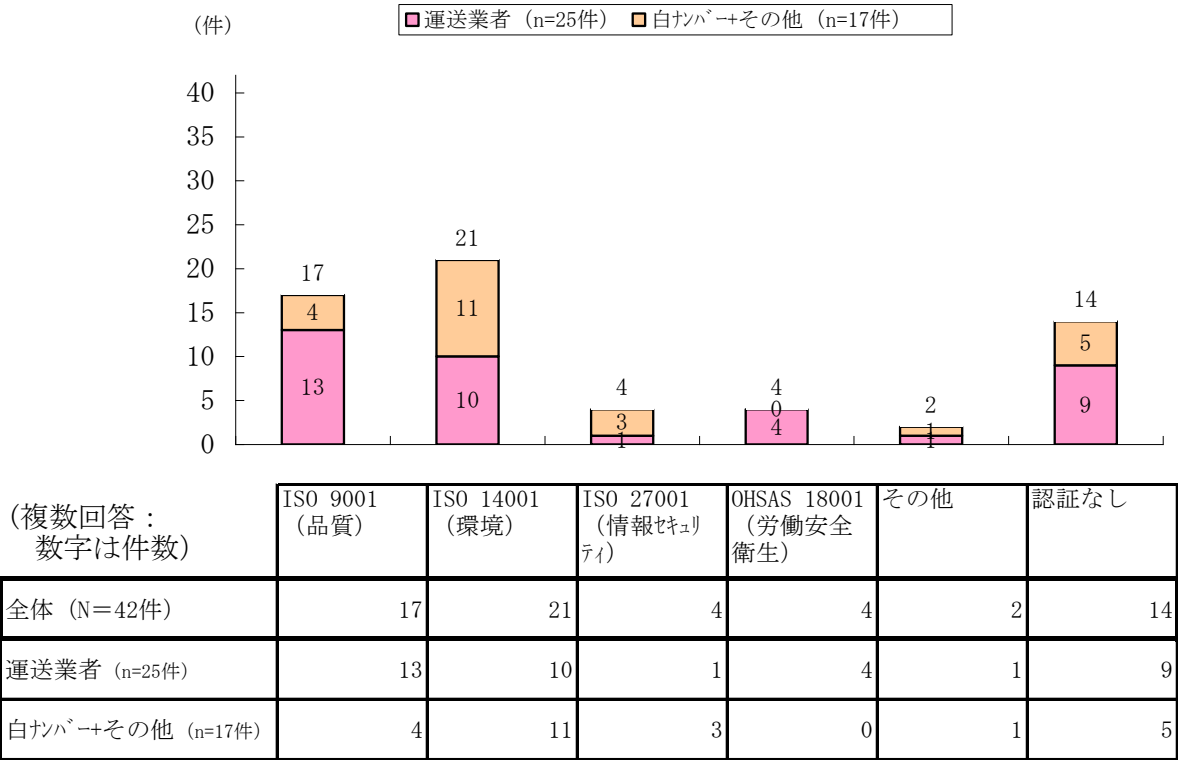


6. ISO 39001以外の認証取得

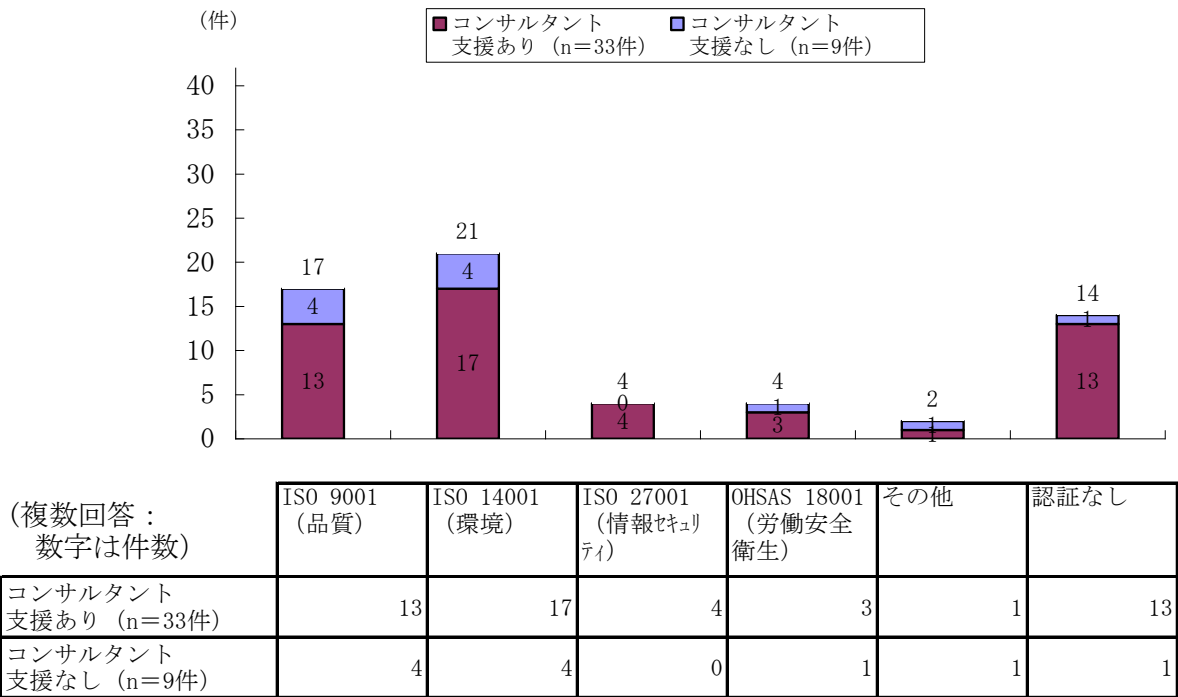
ISO 39001以外の認証（複数回答）については、42事業者からの回答の中で、半数にあたる21件（50.0%）の事業者がISO 14001（環境）を取得しており、17件（40.5%）の事業者がISO 9001（品質）を取得していた。一方、下記に掲げる認証を1つも持っていない事業者は14件（33.3%）であった。

運送業では、ISO 9001の方がISO 14001より取得割合が高いことが分かる。認証を1つも持っていない14事業者のうち13事業者がコンサルタントの支援を受けていた。コンサルタントの支援を受けていない9事業者は、1事業者を除いて何らかのISO認証を取得していた。

＜属性別 ISO 39001以外の認証取得＞



＜コンサルタント支援有無別 ISO 39001以外の認証取得＞

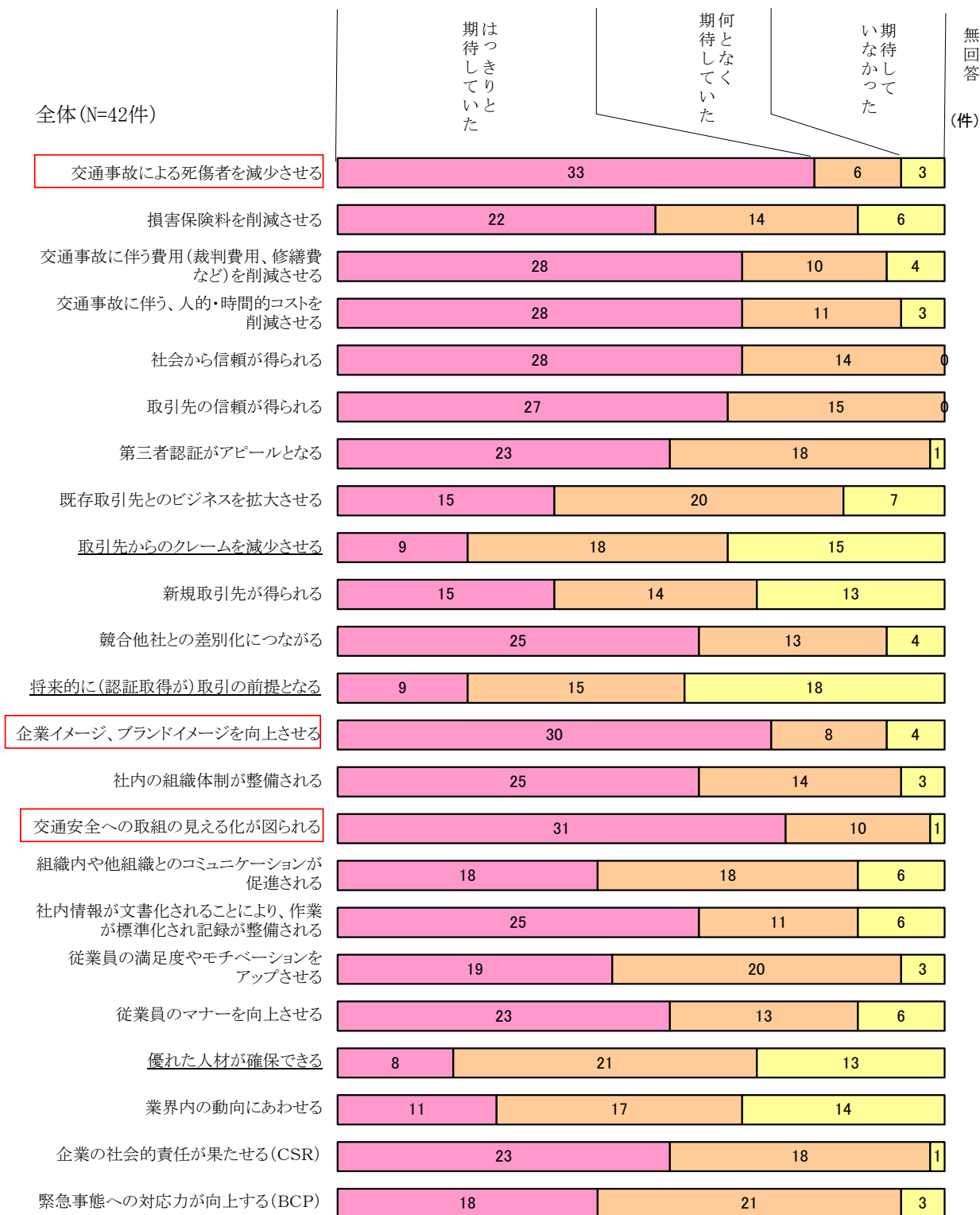


7. ISO 39001取得前の期待 全体

ISO 39001取得前の期待について、42事業者からの回答の中で、「はっきりと期待していた」と回答する割合が高い項目は、「交通事故による死傷者を減少させる」が33件(78.6%)、「交通安全への取組の見える化が図られる」が31件(73.8%)、「企業イメージ、ブランドイメージを向上させる」が30件(71.4%)となっている。

「はっきりと期待していた」と回答する割合が低い項目は、「優れた人材が確保できる」、「取引先からのクレームを減少させる」、「将来的に（認証取得が）取引の前提となる」で、いずれも10件を下回った。

<取得前の期待>

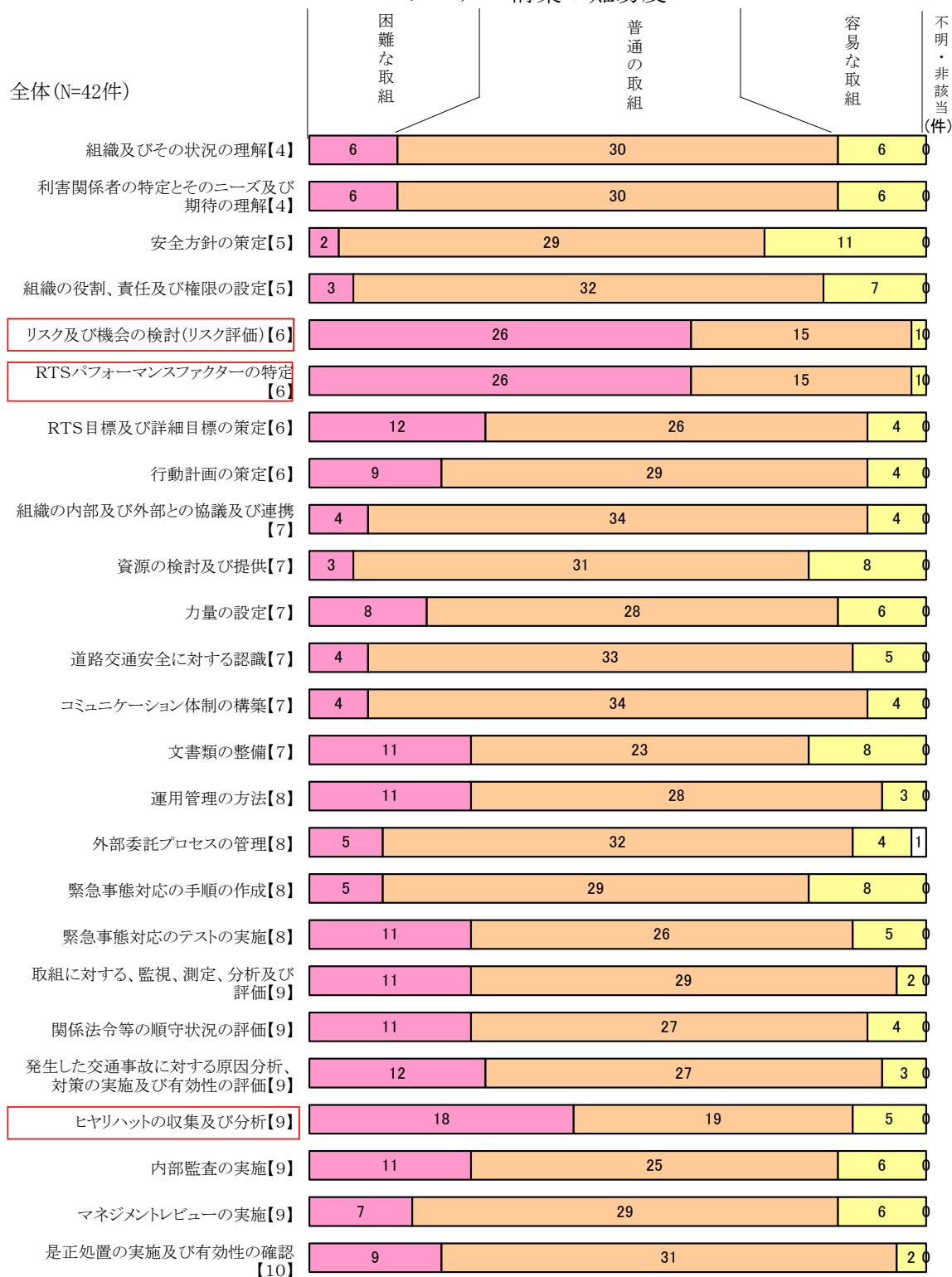


8－1．ISO 39001システム構築の難易度（1）全体

ISO 39001システム構築の難易度について、42事業者からの回答の中で、「困難な取組み」と回答する割合が高い項目は、「リスク及び機会の検討（リスク評価）【6】」、「RTSパフォーマンスファクターの特定【6】」がともに26件(61.9%)であった。他の項目は困難な取組みと回答した割合がいずれも半数に満たない。その中で「ヒヤリハットの収集及び分析【9】」は18件(42.9%)とやや多い。逆に「容易な取組み」と回答した割合もほとんど多くの項目で10件を上回らない。

運送業／白ナンバー別、コンサル有無別、他のISO認証有無別の結果は次ページに記す。

＜システム構築の難易度＞



8－2．ISO 39001システム構築の難易度（2）属性別

ISO 39001システム構築の難易度について、属性間で「困難な取組み」と回答傾向に差が見られるものは、運送業／白ナンバー＋その他では、「ヒヤリハットの収集及び分析【9】」で、白ナンバー＋その他の方が困難な取組みと回答する割合が高い。

最も困難な取組みと回答された「リスク及び機会の検討（リスク評価）【6】」、「R T S パフォーマンスファクターの特定【6】」はコンサルタントの支援有無に係わらずその割合が高くなっており、その他にも「ヒヤリハットの収集及び分析【9】」、「緊急事態対応のテストの実施【8】」、「発生した交通事故に対する原因分析、対策の実施及び有効性の評価【9】」はコンサルタントの支援を受けても困難な取組みと回答する割合が高い。

＜属性別 システム構築の難易度＞

	該当数	組織及びその状況の理解【4】	利害関係者の特定とそのニーズ及び期待の理解【4】	安全方針の策定【5】	組織の役割、責任及び権限の設定【5】	リスク及び機会の検討（リスク評価）【6】	R T S パフォーマンスファクターの特定【6】	R T S 目標及び詳細目標の策定【6】	行動計画の策定【6】	組織の内部及び外部との協議及び連携【7】	資源の検討及び提供【7】	力量の設定【7】	道路交通安全に対する認識【7】
全 体	42	6	6	2	3	26	26	12	9	4	3	8	4
運送業	25	4	4	2	2	17	17	7	5	4	2	5	2
白ナンバー ＋その他	17	2	2	0	1	9	9	5	4	0	1	3	2
コンサルタント 支援あり	33	6	5	2	3	21	20	9	9	4	3	7	4
コンサルタント 支援なし	9	0	1	0	0	5	6	3	0	0	0	1	0
ISO 39001以外 認証あり	28	3	5	1	2	16	15	6	5	2	3	7	2
ISO 39001以外 認証なし	14	3	1	1	1	10	11	6	4	2	0	1	2

	コミュニケーション体制の構築【7】	文書類の整備【7】	運用管理の方法【8】	外部委託プロセスの管理【8】	緊急事態対応の手順の作成【8】	緊急事態対応のテストの実施【8】	取組に対する、監視、測定、分析及び評価【9】	関係法令等の順守状況の評価【9】	発生した交通事故に対する原因分析、対策の実施及び有効性の評価【9】	ヒヤリハットの収集及び分析【9】	内部監査の実施【9】	マネジメントレビューの実施【9】	是正処置の実施及び有効性の確認【10】
全 体	4	11	11	5	5	11	11	11	12	18	11	7	9
運送業	2	7	8	4	2	7	7	6	7	8	8	4	7
白ナンバー ＋その他	2	4	3	1	3	4	4	5	5	10	3	3	2
コンサルタント 支援あり	4	9	8	4	5	11	9	10	11	18	8	7	7
コンサルタント 支援なし	0	2	3	1	0	0	2	1	1	0	3	0	2
ISO 39001以外 認証あり	0	5	5	4	2	7	7	7	7	9	5	3	6
ISO 39001以外 認証なし	4	6	6	1	3	4	4	4	5	9	6	4	3

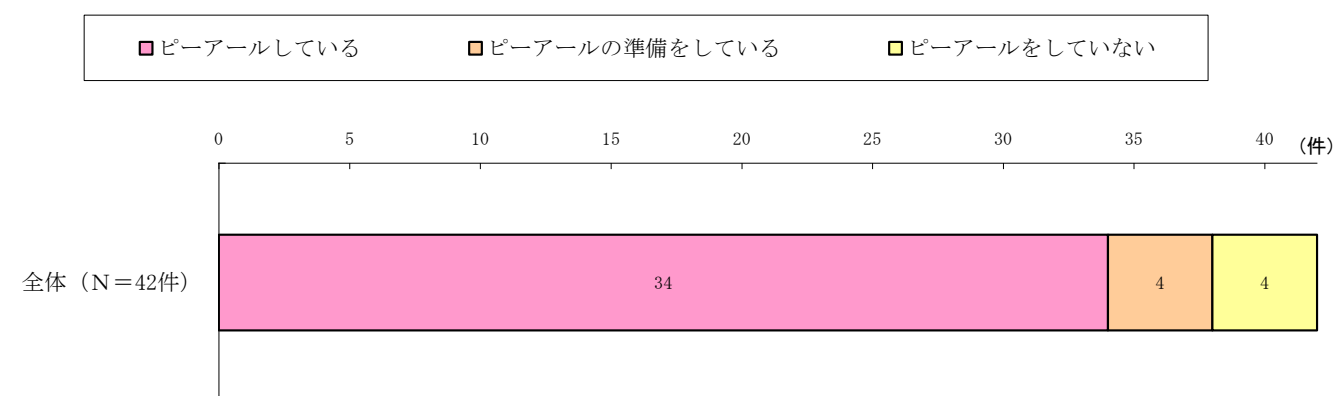
9－1．ISO 39001認証取得ピーアール

ISO 39001認証取得をピーアールしている割合は、42事業者からの回答の中で34件(81.0%)あり、準備段階もあわせると38件(90.5%)が認証のピーアールを実施または準備している。

ピーアールをしているまたは準備している38事業者のピーアール方法については、「ホームページに掲載」、「名刺に掲載」がそれぞれ33件（86.8%：該当者ベース）、次いで「社内に取得の掲示」が26件（68.4%： 該当者ベース）であった。

一方、ピーアールをしていない事業者の理由は、「ピーアールを目的としていないため」となっている。

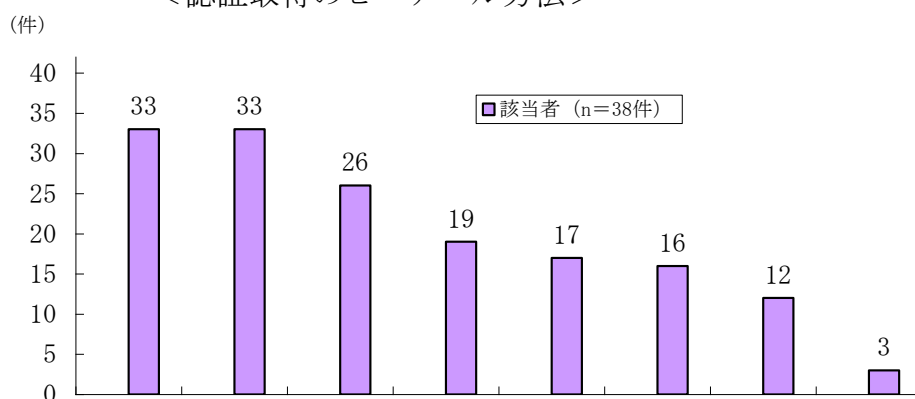
<認証取得のピーアール状況>



(単回答：数字は件数)

	ピーアールしている	ピーアールの準備をしている	ピーアールをしていない
全体 (N=42件)	34	4	4

<認証取得のピーアール方法>



(複数回答：数字は件数)

	ホームページに掲載	名刺に掲載	社内に取得したことを掲示	車両に掲載	企業パンフレットに掲載	ニュースリリースや報道発表	新聞や雑誌に掲載	その他
該当者 (n=38件)	33	33	26	19	17	16	12	3

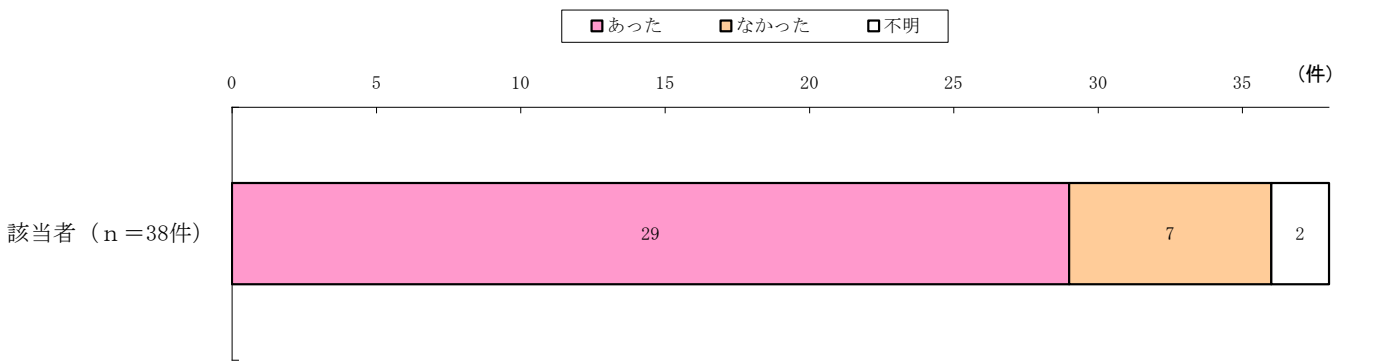
9－2．ISO 39001認証取得ピアール効果

ISO 39001認証取得のピアール効果については、「ピアールを実施している（準備中含む）」38事業者の中、29件(76.3%：該当者ベース)で効果が見られた。

「ISO 39001とはどのような規格か」、「ISO 39001取得のメリットについて」、「ISO 39001の内容について」といった全般的な問い合わせや「セミナー・コンサルティング依頼」、「資料・ツール提供」、「安全意識が高いという評価」など具体的なピアール効果を挙げる事業者があった。

運送業・白ナンバー他別、コンサルタント支援有無別、他のISO認証有無別は下記の通りである。
次ページに具体的な効果をまとめた。

＜認証取得のピアール効果＞



＜属性別 認証取得のピアール効果＞

(単回答： 数字は件数)	あった	なかった	不明
該当者 (n = 38件)	29	7	2
運送業 (n=24件)	20	4	0
白ナンバー+その他 (n=14件)	9	3	2
コンサルタント支援あり (n=33件)	21	7	2
コンサルタント支援なし (n=9件)	8	0	0
ISO 39001以外の認証有 (n=28件)	20	4	1
ISO 39001以外の認証無 (n=14件)	9	3	1

9－3．ISO 39001認証取得ピーアール効果

【具体的な効果】

効果があった (n=29)

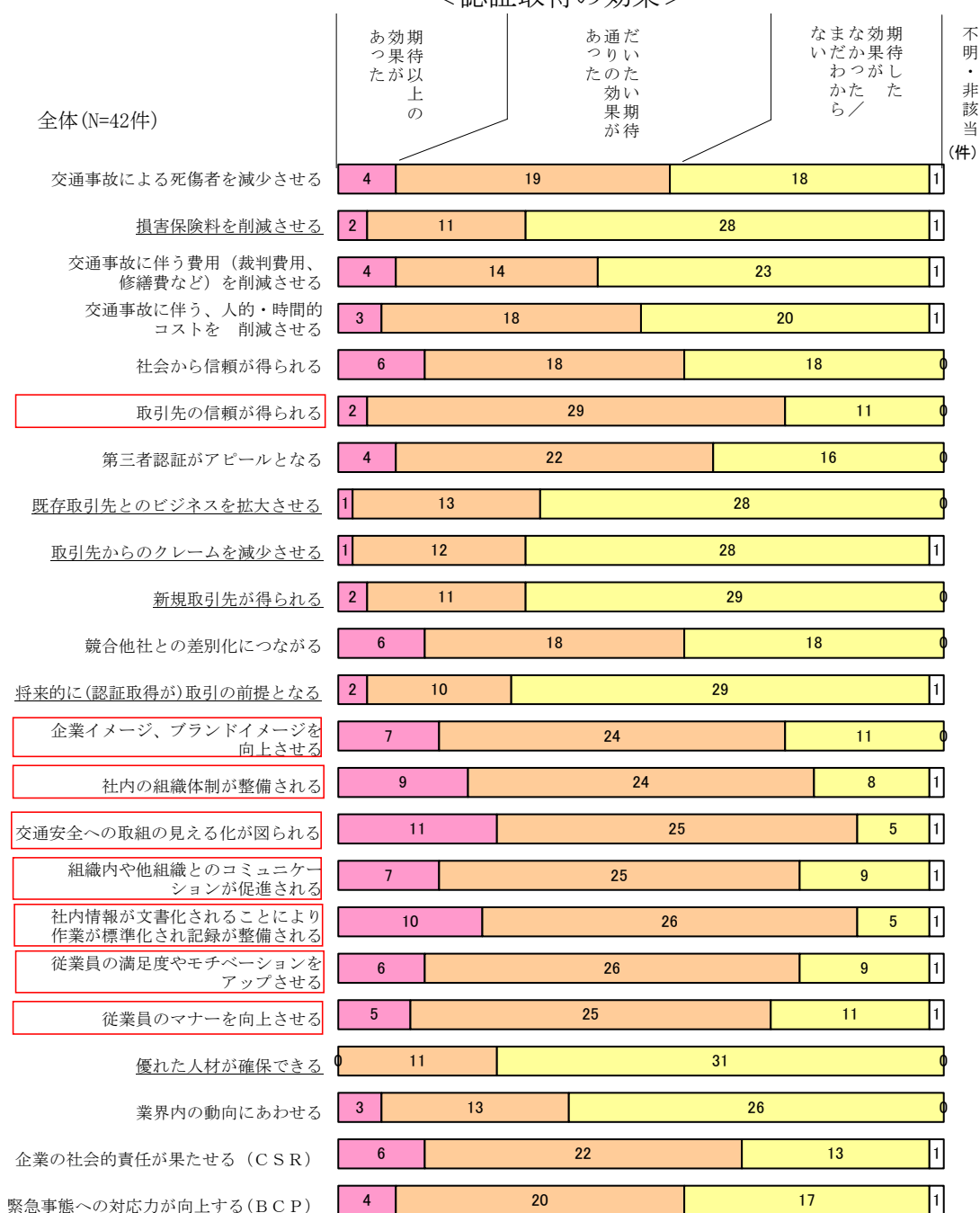
	(件数)	
I S O 39001に関する問い合わせ	12	
I S O 39001はどのような規格か	3	(道路旅客、コンサル有、ISO有) (情報通信、コンサル有、ISO有) (その他、コンサル有、ISO有)
I S O 39001取得メリットについて	3	(その他、コンサル有、ISO無) (道路旅客、コンサル無、ISO有) (道路貨物、コンサル有、ISO有)
I S O 39001の内容について	3	(道路旅客、コンサル有、ISO無) (金融、コンサル有、ISO有) (道路貨物、コンサル有、ISO有)
取引先から I S O 39001問い合わせ	2	(道路貨物、コンサル有、ISO有) (道路貨物、コンサル有、ISO無)
社内掲示に対して I S O 39001問い合わせ	2	(道路貨物、コンサル無、ISO有) (その他、コンサル有、ISO無)
荷主から I S O 39001はアピールできると評価	1	(道路貨物、コンサル有、ISO無)
セミナー・コンサルティング依頼	6	
コンサルティング依頼	4	(金融、コンサル有、ISO有) 2件 (その他、コンサル有、ISO有) (その他、コンサル無、ISO有)
セミナー依頼	2	(道路貨物、コンサル有、ISO有) (その他、コンサル有、ISO無)
問い合わせ全般	4	
社内取り組みについて	2	(その他、コンサル有、ISO有) (道路貨物、コンサル有、ISO有)
事故件数について	1	(道路貨物、コンサル無、ISO有)
問い合わせが増えた	1	(道路貨物、コンサル無、ISO有)
費用に関すること	3	
取得費用について	2	(道路貨物、コンサル無、ISO有) (道路旅客、コンサル無、ISO有)
費用対効果について	1	(道路旅客、コンサル有、ISO無)
安全意識が高いと評価	2	
安全意識が高い	1	(道路旅客、コンサル有、ISO無)
交通安全に対する運転士の意識改革、 教育に取り組んでいるとの評価を得た	1	(道路貨物、コンサル有、ISO無)
資料・ツール提供	2	
バス手配会社にツールを提供	1	(道路旅客、コンサル有、ISO無)
資料提供依頼	1	(その他、コンサル有、ISO無)
取組みが早いと評価	2	(道路旅客、コンサル有、ISO有) (道路旅客、コンサル無、ISO有)
新規取引につながった	1	(道路貨物、コンサル有、ISO無)
お客様の信頼度が向上したような気がする	1	(道路貨物、コンサル無、ISO有)
これから運輸、物流業にとって必要になると思う	1	(道路貨物、コンサル無、ISO有)
評価が高まった	1	(道路貨物、コンサル有、ISO有)

10-1. ISO 39001取得効果（1）全体

ISO 39001取得効果については、「期待以上の効果があった」または「だいたい期待通りの効果があった」と回答する合計の割合が高い項目は、「交通安全への取組の見える化が図られる」、「社内情報が文書化されることにより、作業が標準化され記録が整備される」が多く、以下「社内の組織体制が整備される」、「組織内や他組織とのコミュニケーションが促進される」、「従業員の満足度やモチベーションをアップさせる」、「取引先の信頼が得られる」、「企業イメージ、ブランドイメージを向上させる」、「従業員のマナーを向上させる」と続き、いずれも42事業者からの回答の中で、30件(71.4%)を超えた。

一方、「期待以上+だいたい期待通りの効果があった」と回答する割合が低い項目は、「優れた人材が確保できる」、「将来的に（認証取得が）取引の前提となる」、「新規取引先が得られる」、「取引先からのクレームを減少させる」、「損害保険料を削減させる」、「既存取引先とのビジネスを拡大させる」で42事業者からの回答の中で、10件台前半となっている。

＜認証取得の効果＞

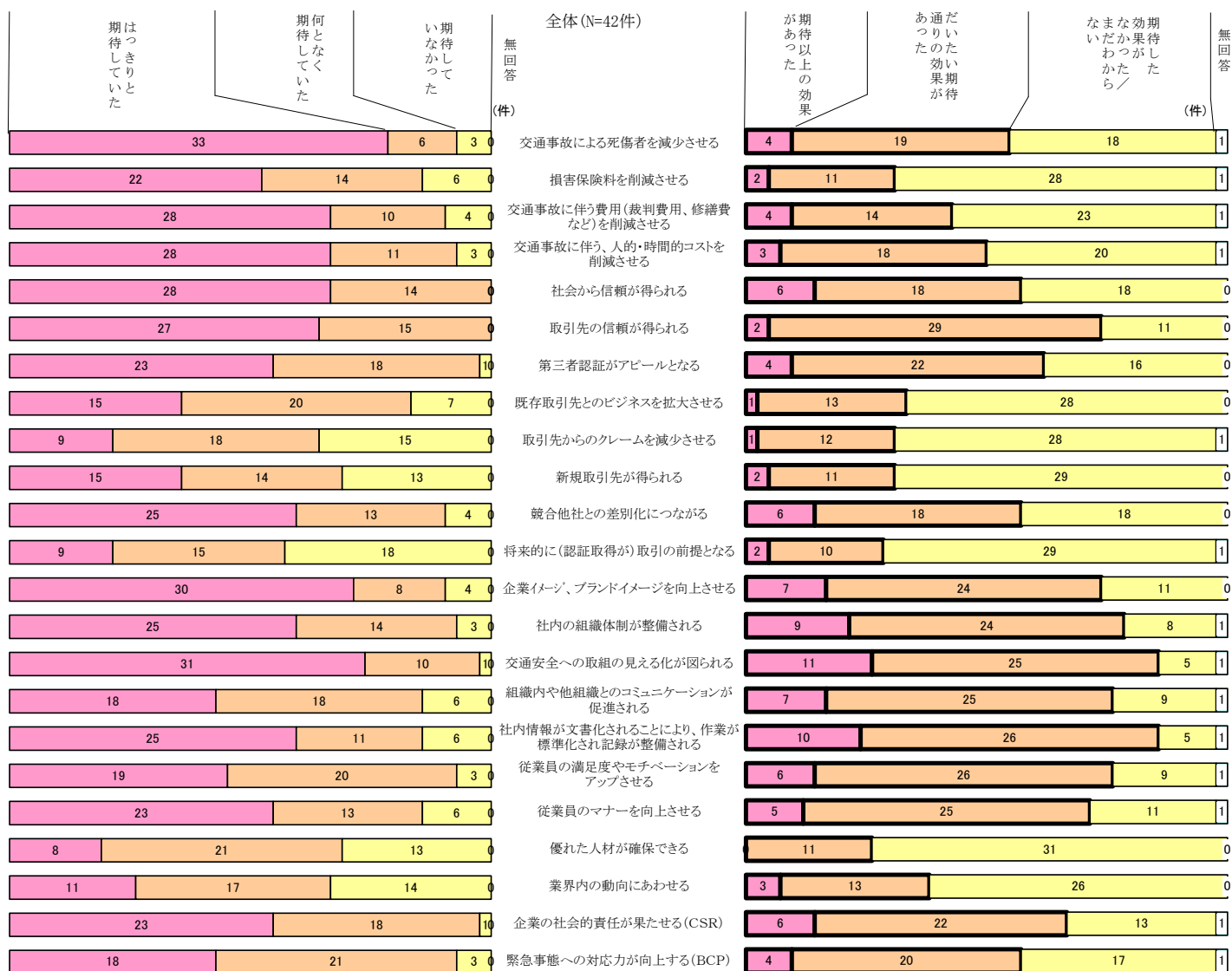


10-2. ISO 39001取得効果 (2) 事前期待との比較

ISO 39001取得前に「はっきりと期待していた」と回答する割合が1番高かった「交通事故による死傷者を減少させる」（42事業者からの回答の中33件：78.6%）は、「期待以上＋期待通りの効果があった」を合わせて23件（54.8%）であった。取得事業者が、認証後、間もないので期待する効果が現れていない状態である。

ただし、次ページ以降の自由回答を見る限りでは、ISO 39001取得の効果として、「交通事故」について記入がある31事業者の回答の中で、「事故なし」が6件、「事故減少」が15件と具体例が挙げられている。

＜認証取得の効果と事前期待の比較＞



1 1－1. ISO 39001効果具体例 (1)

【交通事故】

【交通事故についてまとめ (具体的記入あり=31件)】

(件数)

0件、事故なし	6
元々、事故がなかった	3
ほぼ0件に近い	2
2013年度0件 (以前との比較なし)	1
割合や件数等数字を示して、事故が減少した	11
件数で事故減少	3
有責事故4割減	1
3割減	2
2割、有責事故2割減	3
1割減	1
2ポイント減	1
数字なし、事故が減少した	3
重傷事故が減少した	1
有責事故が減少した	1
前年比減少した	1
費用数字を示して、減少した	1
本年より総てもれなく報告させているので、件数自体は前年と変わらない	1
連続交通事故ゼロ日数の歴代記録を更新はしたものの、事故件数は微少程度に留まっている	1
軽微な交通事故についても原因の特定がされ、再発防止に努める意識がより強くなった	1
取得後、件数が減少したがこれが取得効果なのか、推移を見守る必要がある	1
減っていない、変わらない	2
わからない	4

【交通事故:入力データ】

業種	交通事故
道路貨物運送業	今年度は事故件数の最小件数達成見込み（H19年度84件→H25年度34件）。
道路貨物運送業	なし。
道路貨物運送業	全社、2013年度は重傷事故が0件であった。
道路貨物運送業	事故件数の減少（30％）。
道路貨物運送業	重大事故0件継続中。
道路貨物運送業	取得後、件数が減少したが、これが取得効果なのか、推移を見守る必要がある。
道路貨物運送業	なし。
道路貨物運送業	わからない。
道路貨物運送業	なし。
道路貨物運送業	重傷事故が減少した。
道路貨物運送業	有責事故は40％減少。
道路貨物運送業	同じ。
道路貨物運送業	当社は比較的交通事故が少ない会社ではあったが、交通事故がゼロに近づきつつある。
道路貨物運送業	3割減少。
道路貨物運送業	前年度対比では、件数減した。
道路貨物運送業	まだわからない。
道路旅客運送業	重大事故報告0件。事故件数は前年（2012年度）より12件減少した。
道路旅客運送業	有責事故件数が2割程度減少。
道路旅客運送業	わからない。
道路旅客運送業	有責事故が2割減少しました。
道路旅客運送業	なし。
道路旅客運送業	事故費約800万円減少。
道路旅客運送業	なし。
道路旅客運送業	なし。
その他運輸業	なし。
金融、保険業	わからない。
金融、保険業	2ポイント減。
金融、保険業	取引先への提案、講習等で10％減少。
金融、保険業	なし。
廃棄物処理業	約2割減少。
廃棄物処理業	社内において連続交通事故ゼロ日数の歴代記録を更新はしたものの、事故件数は微少程度に留まっている。
廃棄物処理業	回答なし。
情報通信業	なし。
卸売、小売業	まだわからない。件数は前年と変わらず。理由。前年。全数報告していない。本年。総てもれなく報告させた。
その他（コンサルティング業）	認証取得以前から、ほとんど発生していない。
その他（コンサルティング業）	回答なし。
その他（サービス業）	一般道路での有責事故が減少している。
その他（サービス業）	軽微な交通事故についても原因の特定がされ、再発防止に努める意識がより強くなった。
その他（自動車教習所）	事故件数をR T S目標にしたが、減っていない。
その他（海上コンテナ輸送）	I S O認証後、道路上の事故が減り、大変軽微な事故1件だけである。
その他（自家用自動車管理業）	1月末時点で前年比－12件。
その他（商社）	もともと交通事故（重傷・有責事故）はほとんどなしであったが、継続されている。

1 1－2. ISO 39001効果具体例 (2)

【損害保険料】

【損害保険料についてまとめ (具体的記入あり=22件)】	(件数)
損害保険を使用するケースは、ほぼない	1
任意保険料につき、最優遇を維持している	1
保険料が減少した	6
来期最大75%減少	1
5 割減	1
1 5 %減	1
1 割減	2
4 %減	1
認証後 1 年たっていないので、〇割減少までは解らないが、減るものと思われる。	1
査定期間により不明	1
検証していない	1
大きな事故は減少しているが、ここ数年減少しているので、直接の効果とは言えない	1
変わらない	4
わからない	6

【損害保険料:入力データ】

業種	損害保険料
道路貨物運送業	損害保険料 5 割減少。
道路貨物運送業	なし。
道路貨物運送業	なし。
道路貨物運送業	保険料割引が増えた（4 %）。
道路貨物運送業	なし（未検証）
道路貨物運送業	取得して間もない（昨年 1 1 月）ので、荷主も出荷について検討されていないが、来年度は期待したい。
道路貨物運送業	なし。
道路貨物運送業	わからない。
道路貨物運送業	なし。
道路貨物運送業	損害保険料が 1 割減少した。
道路貨物運送業	なし。
道路貨物運送業	なし。
道路貨物運送業	来期の最大割引（7 0 + 5 = 7 5 %割引）が確定。これで 5 年連続。
道路貨物運送業	なし。
道路貨物運送業	なし。
道路貨物運送業	回答なし。
道路旅客運送業	変わらず。
道路旅客運送業	保険料が 1 割程度減少。
道路旅客運送業	なし。
道路旅客運送業	わからない。
道路旅客運送業	なし。
道路旅客運送業	査定期間により不明。
道路旅客運送業	なし。
道路旅客運送業	なし。
その他運輸業	なし。
金融、保険業	わからない。
金融、保険業	わからない。
金融、保険業	回答なし。
金融、保険業	なし。
廃棄物処理業	現在は同様。
廃棄物処理業	変化なし。
廃棄物処理業	回答なし。
情報通信業	なし。
卸売、小売業	わからない。
その他（コンサルティング業）	損害保険を使用するケースは、ほぼない。
その他（コンサルティング業）	回答なし。
その他（サービス業）	任意保険料につき、最優遇を維持している。
その他（サービス業）	わからない。
その他（自動車教習所）	横ばい。
その他（海上コンテナ輸送）	認証後 1 年たっていないので、〇割減少までは解らないが、減るものと思われる。
その他（自家用自動車管理業）	回答なし。
その他（商社）	1 5 % ぐらい減少した。

1 1－3. ISO 39001効果具体例 (3)

【既存取引先】

【既存取引先についてまとめ (具体的記入あり＝15件)】	(件数)
取引引きや問い合わせが増えた	4
講習依頼が50%増	1
既存顧客からの新規業務の引合いが増えている	1
R T Sに係る問い合わせが増加した	1
信用をいただき、取引量が増加傾向となった	1
今後、取引引きや問い合わせが増加する、期待したい	3
数字は解らないが、興味を持たれているPR活動も行っており、今後増加する	1
業務拡大には今のところつながっていないが、取引先から関心のコメント等は頂戴している	1
取得して間もないので、荷主も出荷について検討されていないが、来年度は期待したい	1
変わらない	2
特に効果は感じない	1
変化なし	1
あまり興味をしめしてくれない	1
わからない	5

【既存取引先:入力データ】

業種	既存取引先
道路貨物運送業	なし。
道路貨物運送業	なし。
道路貨物運送業	業務拡大には今のところつながっていないが、取引先から関心のコメント等は頂戴している。
道路貨物運送業	なし。
道路貨物運送業	なし。
道路貨物運送業	取得して間もない（昨年11月）ので、荷主も出荷について検討されていないが、来年度は期待したい。
道路貨物運送業	なし。
道路貨物運送業	わからない。
道路貨物運送業	なし。
道路貨物運送業	なし。
道路貨物運送業	なし。
道路貨物運送業	なし。
道路貨物運送業	既存顧客からの新規業務の引合いが増えている。
道路貨物運送業	なし。
道路貨物運送業	なし。
道路貨物運送業	回答なし。
道路旅客運送業	なし。
道路旅客運送業	とくに効果なし。
道路旅客運送業	なし。
道路旅客運送業	わからない。
道路旅客運送業	なし。
道路旅客運送業	信用をいただき、取引量が増加傾向となった。
道路旅客運送業	なし。
道路旅客運送業	なし。
その他運輸業	なし。
金融、保険業	わからない。
金融、保険業	なし。
金融、保険業	講習依頼増加50%。
金融、保険業	なし。
廃棄物処理業	なし。
廃棄物処理業	変化なし。
廃棄物処理業	回答なし。
情報通信業	なし。
卸売、小売業	わからない。
その他（コンサルティング業）	回答なし。
その他（コンサルティング業）	回答なし。
その他（サービス業）	既存取引先からのR T Sに係る問い合わせが増加した。
その他（サービス業）	わからない。
その他（自動車教習所）	あまり興味をしめしてくれない。
その他（海上コンテナ輸送）	数字は解らないが、興味を持たれている。P R活動も行っており、今後増加する。
その他（自家用自動車管理業）	回答なし。
その他（商社）	なし。

1 1－4. ISO 39001効果具体例 (4)

【新規取引先】

【新規取引先についてまとめ (具体的記入あり＝14件)】	(件数)
取り引きや問い合わせが増えた	5
個別相談業務や認証取得支援の対応があり、新規事業につながった	1
新規取引が1割増えた	1
新規顧客が少しずつ増加している	1
数社からの引合が入っているが、取引にいたっていない、今後は増えると期待します	1
問い合わせが増えた	1
ピーアールの材料になる	1
変わらない	2
特に効果は感じない	1
変化なし	1
わからない	6

【新規取引先:入力データ】

業種	新規取引先
道路貨物運送業	なし。
道路貨物運送業	なし。
道路貨物運送業	わからない。
道路貨物運送業	なし。
道路貨物運送業	なし。
道路貨物運送業	なし。
道路貨物運送業	なし。
道路貨物運送業	わからない。
道路貨物運送業	なし。
道路貨物運送業	新規取引が1割増えた。
道路貨物運送業	なし。
道路貨物運送業	なし。
道路貨物運送業	問い合わせ増。
道路貨物運送業	なし。
道路貨物運送業	なし。
道路貨物運送業	回答なし。
道路旅客運送業	なし。
道路旅客運送業	とくに効果なし。
道路旅客運送業	なし。
道路旅客運送業	わからない。
道路旅客運送業	なし。
道路旅客運送業	新規顧客が少しずつ増加している。
道路旅客運送業	なし。
道路旅客運送業	なし。
その他運輸業	なし。
金融、保険業	わからない。
金融、保険業	わからない。
金融、保険業	回答なし。
金融、保険業	なし。
廃棄物処理業	なし。
廃棄物処理業	変化なし。
廃棄物処理業	回答なし。
情報通信業	なし。
卸売、小売業	わからない。
その他（コンサルティング業）	個別相談業務や認証取得支援の対応があり、新規事業につながった。
その他（コンサルティング業）	回答なし。
その他（サービス業）	なし。
その他（サービス業）	なし。
その他（自動車教習所）	P、R材料にはなる。
その他（海上コンテナ輸送）	数社からの引合が入っているが、取引にいたっていない。今後は増えると期待します。
その他（自家用自動車管理業）	回答なし。
その他（商社）	なし。

1 1－5．ISO 39001効果具体例 （5）

【社内コミュニケーション】

【社内コミュニケーションについてまとめ（具体的記入あり＝35件）】	（件数）
ドライバーの意識が変わった、高まった	5
ドライバーよりの意見が出始めた	2
ドライバー会議が有用なものになってきた	1
乗務員の事故削減に対する意識が向上した	1
運転手のモチベーションが上がっている事はたしかでデジタコの評価が高くなった	1
社員間の意識が変わった、高まった	5
営業→開発→運用→サポートの一体感が高まった	1
部門間の壁がなくなり、情報の共有化がとれた	1
共通の目的意識ができ、意見交換をする場が増えた	1
事務系社員の安全意識が高まった	1
日々の業務前確認作業により、社員間のコミュニケーションがupした	1
社員の意識が変わった、高まった	5
自発的に安全管理をするようになった	5
自発的に安全管理に取り組むようになった	2
自律心が芽生えた	2
プライベートでの事故の防止や安全運転に関する話題が職場でよく出るようになってきた	1
R T Sに関する変化	3
R T Sの露出が高まった	2
R T S情報の伝達手段が確立された	1
事故に対する意識が変わった	3
安全対策以外への波及効果	2
安全・コンプライアンスに力を入れている会社だから安心して勤めることができる	1
健康維持促進に対する取組等にも協力的になってきた	1
法令順守	2
速度超過者の減少	1
法令順守	1
安全諸施策について、理論的に考える手法が身についた	1
定期的な文書管理の実施により安全対策の取り組みに関する意識が高まった	1
ヒヤリハット情報の提出等積極的に取り組み	1
あまり変化はないが、強制的な指示が出される。	1
監視する事が増えた	1
まだわからない	1

【社内コミュニケーション:入力データ】

業種	社内コミュニケーション
道路貨物運送業	自律心が芽生えた（モラルの向上）。
道路貨物運送業	安全諸施策について、理論的に考える手法が身についた（リスクの特定、パフォーマンスファクター）。
道路貨物運送業	R T S 情報（事故の横展・クレーム等）の伝達手段が確立された。
道路貨物運送業	社員の意識はわずかだが変わりつつある。
道路貨物運送業	部門間の壁がなくなり、情報の共有化がとれた。
道路貨物運送業	少しずつ高まってきているのが分かる。
道路貨物運送業	なし。
道路貨物運送業	安全運転、健康維持促進に対する取組等にも協力的になってきた。
道路貨物運送業	なし。
道路貨物運送業	自発的に安全管理に取り組むようになった。
道路貨物運送業	社員の意識は変わりました。
道路貨物運送業	ドライバー会議が有用なものになってきた。
道路貨物運送業	社員が安全・コンプライアンスに力を入れている会社だから「安心して勤めることができる」という声が多く寄せられている。
道路貨物運送業	運用の仕方などに不慣れな部分があるが、交通事故災害に対する意識は向上した。
道路貨物運送業	社内研修会では一方通行であったが、ドライバーよりの意見が出始めた。
道路貨物運送業	回答なし。
道路旅客運送業	認証取得後、交通事故削減の意識が浸透した。
道路旅客運送業	乗務員の事故削減に対する意識が向上した。
道路旅客運送業	定期的な文書管理の実施により、安全対策の取り組みに関する意識が高まった。
道路旅客運送業	速度超過者の減少。
道路旅客運送業	事務系社員の安全意識が高まった。
道路旅客運送業	ヒヤリハット情報の提出等積極的に取り組み、また月次のミーティング時も安全に対する取り組み発言が増えた。
道路旅客運送業	なし。
道路旅客運送業	まだわからない。
その他運輸業	なし。
金融、保険業	社員の意識が変わった。
金融、保険業	R T S の露出は高かった。
金融、保険業	法令順守。
金融、保険業	社員の意識が変わった。
廃棄物処理業	監視する事が増えた。
廃棄物処理業	社員から安全に対する取り組みについて意見が多く出るようになった。
廃棄物処理業	回答なし。
情報通信業	営業→開発→運用→サポートの一体感が高まった。
卸売、小売業	社員が積極的に取り組みを行っている。
その他（コンサルティング業）	プライベートでの事故・違反の防止や業務用車両の安全運転に関する話題が、職場でよく出るようになってきている。
その他（コンサルティング業）	回答なし。
その他（サービス業）	社員の意識がより高まった。各階層の会議でR T S が取り上げられることが増えた。
その他（サービス業）	社全体として共通の目的意識ができ、意見交換をする場が増えた。
その他（自動車教習所）	日々の業務前確認作業により、社員間のコミュニケーションがupした。
その他（海上コンテナ輸送）	運転手のモチベーションが上がっている事はたしかで、デジタコの評価が高くなった。
その他（自家用自動車管理業）	事故に対する意識が変わった。
その他（商社）	あまり変化はないが、強制的な指示が出される。

1 1－6．ISO 39001効果具体例 (6)

【トップマネジメント】

【トップマネジメントについてまとめ (具体的記入あり=34件)】	(件数)
安全に対する発言が増えた	7
安全に対する発言が増えた	5
社用車事故、社用車管理に関する発言がより増加した	1
毎月、安全への話題・課題の発言が増えた	1
今までも熱心に取り組んでいた	5
今までも熱心に取り組みがあつた	3
トップマネジメントの安全に対する意識が高かったため、認証取得に至った	1
これまでも「安全安心」には力を入れてきたがようやく全社員に浸透してきた	1
施策を発信する回数が増えた	4
事故防止について、明確な指示を出していただいている	1
安全に対する意見、活動の強化、取組みが増	1
施策を発信する回数が増えた	1
安全に対する啓発等の機会が増えた	1
具体的な投資があつた	3
車両の車内環境を整備するための投資が若干増えた	1
最新アルコールチェッカー、デジタル無線機（BCP）等投資	1
安全に対するリソース充実	1
会議のテーマにあがる	3
毎月の会議においてヒヤリハット情報等を得て安全向上に対する発信が増えた	1
安全会議、管理者会議で安全に対する要求が増えた	1
月一回の管理職会議は必ず交通事故テーマが出る	1
トップの意向が、業務に反映される仕組みが明確になった	1
経営（リスク管理）の重要課題との意識が高まった	1
社員のモチベーションを上げる方法を考えてもらえる	1
P D C Aをまわせるようになった	1
安全最優先、社員参加の安全大会の開催	1
高い意識を維持している	1
明らかにコミットいただけた	1
とくに大きな変化なし	1
特に問題はない	1
わからない、まだわからない	3

【トップマネジメント:入力データ】

業種	トップマネジメント
道路貨物運送業	変化なし（今までも熱心に取り組み）。
道路貨物運送業	なし（もともとトップの安全意識は高い）。
道路貨物運送業	安全会議、管理者会議で安全に対する要求が増えた。
道路貨物運送業	なし。
道路貨物運送業	安全に対する意見、活動の強化、取組みが増。
道路貨物運送業	意識は確実に高くなったが、投資は今後の取組みに応じて検討する。
道路貨物運送業	なし。
道路貨物運送業	トップマネジメントの安全に対する意識が高かったため、認証取得に至った。
道路貨物運送業	なし（以前よりOHSAS18001を取組んでいた為）。
道路貨物運送業	トップから発信する機会が増えた。
道路貨物運送業	社員のモチベーションを上げる方法を考えてもらえる。
道路貨物運送業	トップから安全に対する発言が増えた。
道路貨物運送業	これまでも「安全、安心、そして感動」には力を入れてきたが、ようやく全社員に浸透してきたように思う。
道路貨物運送業	安全最優先、社員参加の安全大会の開催。
道路貨物運送業	月一回の管理職会議は必ず交通事故テーマが出る。
道路貨物運送業	回答なし。
道路旅客運送業	車両の車内環境を整備するための投資が若干増えた。
道路旅客運送業	とくに大きな変化なし。
道路旅客運送業	わからない。
道路旅客運送業	トップからは、以前より安全に対する発言は多い。
道路旅客運送業	高い意識を維持している。
道路旅客運送業	トップから毎月の会議においてヒヤリハット情報等を得て、安全向上に対する発信が増えた。
道路旅客運送業	なし。
道路旅客運送業	まだわからない。
その他運輸業	なし。
金融、保険業	わからない。
金融、保険業	明らかにコミットいただけた。
金融、保険業	安全に対するリソース充実。
金融、保険業	経営（リスク管理）の重要課題との意識が高まった。
廃棄物処理業	当たり前であるが、PDCAをまわせるようになった。
廃棄物処理業	安全に対する発言、啓発等の機会が増えた。
廃棄物処理業	回答なし。
情報通信業	なし。
卸売、小売業	毎月、安全への話題・課題の発言が増えた。
その他（コンサルティング業）	社員自らの事故防止とお客さまの事故防止について、明確な指示を出していただいている。
その他（コンサルティング業）	回答なし。
その他（サービス業）	トップから社用車事故、社用車管理に関する発言が、より増加した。
その他（サービス業）	トップの意向が、業務に反映される仕組みが明確になった。
その他（自動車教習所）	特に問題ない。
その他（海上コンテナ輸送）	投資の部分では、最新アルコールチェッカー、デジタル無線機（BCP）、IT点呼機材を認証後に投入している。今後は、左後方カメラも検討中。
その他（自家用自動車管理業）	施策を発信する回数が増えた。
その他（商社）	トップから安全に対する発言が増えた。

1 1－7．ISO 39001効果具体例 （7）

【その他】

業種	その他
道路貨物運送業	
道路貨物運送業	当社の取り組みが、国際規格と照らし合わせて間違っていないことが確認できた。また、リスクを網羅的に洗い出す手法を学ぶことで、より高いレベルの活動を推進できるようになった。
道路貨物運送業	回答なし。
道路貨物運送業	回答なし。
道路貨物運送業	回答なし。
道路貨物運送業	回答なし。
道路貨物運送業	なし。
道路貨物運送業	回答なし。
道路貨物運送業	回答なし。
道路貨物運送業	回答なし。
道路貨物運送業	回答なし。
道路貨物運送業	回答なし。
道路貨物運送業	回答なし。
道路貨物運送業	回答なし。
道路貨物運送業	社内事故発生者の個別及び集合教育が、前年度より回数が増えた。
道路貨物運送業	回答なし。
道路旅客運送業	回答なし。
道路旅客運送業	回答なし。
道路旅客運送業	回答なし。
道路旅客運送業	回答なし。
道路旅客運送業	回答なし。
道路旅客運送業	回答なし。
道路旅客運送業	認証後、1～2サイクル後に効果がはっきりすると思います。
道路旅客運送業	回答なし。
その他運輸業	回答なし。
金融、保険業	回答なし。
金融、保険業	回答なし。
金融、保険業	回答なし。
金融、保険業	回答なし。
廃棄物処理業	回答なし。
廃棄物処理業	回答なし。
廃棄物処理業	回答なし。
情報通信業	回答なし。
卸売、小売業	回答なし。
その他（コンサルティング業）	回答なし。
その他（コンサルティング業）	回答なし。
その他（サービス業）	取引先への提案に付加価値がつけられた。
その他（サービス業）	なし。
その他（自動車教習所）	これから取得だけでなく、ビジネスチャンスとして活用していく。
その他（海上コンテナ輸送）	回答なし。
その他（自家用自動車管理業）	回答なし。
その他（商社）	回答なし。

12. ISO 39001ご意見、ご要望

業種	意見、要望
道路貨物運送業	回答なし。
道路貨物運送業	仕組みがない会社にとっては、仕組みを構築できる良い機会となりうる。運輸安全マネジメントと重複するところが多いため、運輸業界はまずは安マネに取り組んだ方がよい。
道路貨物運送業	R T S パフォーマンスファクターの策定など、計画段階ではかなりの事務的労力を要するが、いったん軸となる部分が確立できれば、継続的改善に向けて良好な循環を生み出せるシステムになっている。今度は弊社のみならず、客先の安全に対する理解を得ていくことが課題と考える。
道路貨物運送業	回答なし。
道路貨物運送業	回答なし。
道路貨物運送業	回答なし。
道路貨物運送業	回答なし。
道路貨物運送業	回答なし。
道路貨物運送業	回答なし。
道路貨物運送業	回答なし。
道路貨物運送業	回答なし。
道路貨物運送業	非常に良い規格であるが、トップタウン型の規格でもあり（道路交通安全に特化していることもある）、O H S A S 1 8 0 0 1（ボトムアップ型）と組み合わせると最高のパフォーマンスが期待できると思う。
道路貨物運送業	現在は I S O 認証会社のプライベート認証ですので、J A B 等の認証まで出来るようになればと思います。
道路貨物運送業	特になし。
道路貨物運送業	回答なし。
道路旅客運送業	回答なし。
道路旅客運送業	同業他社より、取得についてよくたずねられます。しかし費用面がネックとなり、なかなか普及していないように感じられます。もう少し積極的に P R 等をされてはどうでしょうか？ 確実に事故を減らせる仕組みが構築されるわけですので、導入費用以上の効果はあると思います。
道路旅客運送業	当社の事業における I S O 3 9 0 0 1 の取り組みは効果が発揮されるまでに時間を要するものが多いため、長期的な実施による効果検証を行っていく必要がある。
道路旅客運送業	今のところ特にありません。
道路旅客運送業	マニュアルの改訂や文書作成に追われる I S O ならではの弊害を感じる時がある。
道路旅客運送業	回答なし。
道路旅客運送業	回答なし。
道路旅客運送業	回答なし。
その他運輸業	回答なし。
金融、保険業	回答なし。
金融、保険業	回答なし。
金融、保険業	回答なし。
金融、保険業	回答なし。
廃棄物処理業	なし。
廃棄物処理業	交通事故撲滅への道程はまだ遠い。
廃棄物処理業	回答なし。
情報通信業	事業者にとって、取得のインセンティブがなさすぎる。9 0 0 1 等のように入札条件にするなど、政府機関との連携が必要。
卸売、小売業	回答なし。
その他（コンサルティング業）	回答なし。
その他（コンサルティング業）	取得企業が増えることを期待しています。
その他（サービス業）	本規格は社会課題の解決につながる C S R の一環であり、積極的な宣伝活動をお願いしたい。認証取得、維持のコストが高いため、引き下げることで、取得希望企業の裾野が急拡大するのではないかと。
その他（サービス業）	I S O 3 9 0 0 1 規格がさらに増加し、認証企業が丸丸となって重大な交通事故を削減する活動となるよう、期待します。
その他（自動車教習所）	特になし。
その他（海上コンテナ輸送）	3 9 0 0 1 は道路上の事故を減らす事に特化した I S O であり、非常に取りやすく、また効果がある I S O だと思います。全国規模で認証が広がる事を期待します。
その他（家用自動車管理業）	まだ1年たってはおりませんが、効果はあるものと思われま。
その他（商社）	新しい情報があれば教えて下さい（要求事項の解釈が一部変更になりそうとか）。

(付) 調査票

「ISO 39001 取得事業者様アンケート調査」

■ 回答の記入方法について

- ・回答は原則としてあてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)、(○はいくつでも)など并表示していますので、そちらに合わせてください。
- ・お答えが選択肢の中にない場合は、「その他」を選び、() 内にその内容を具体的に記入してください。
- ・ご回答内容により、次の質問を回答していただく方が限られる場合があります。ことわり書きや矢印にしたがってください。特にことわりのない場合は、次の質問に進んで下さい。
- ・ご協力のお礼として「謝礼」を同封いたしました。ご査収のほどよろしくお願いいたします。

ご回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手は貼っています）に入れて、3月14日（金）までに郵便ポストに投函してください。

【調査に関するお問い合わせ】

・調査の主旨、目的に関すること

独立行政法人 自動車事故対策機構 安全調査室 高橋、太田

電話 03-5608-7641 お問い合わせ受付時間：平日 9:00～17:40

・調査票の内容、回答方法に関すること

株式会社 マーケティング・リサーチ・サービス 島田

電話 03-5976-0722 お問い合わせ受付時間：平日 10:00～18:00

貴社名、ご担当者、連絡先をご記入下さい。

※ ご記入いただいた個人情報は、ご回答いただいた内容の確認以外には使用いたしません。

貴社名	
部署	
ご担当	
お電話番号	

本調査を委託しております、株式会社 (株)マーケティング・リサーチ・サービスは、マーケティングリサーチ（市場調査）を通じて調査対象者の実態や意見を統計情報として、企業や団体などに提供しております。その際、その情報源である個人情報の保護に関しては、マーケティング・リサーチ業界の国際行動規範である「ICC/ESOMAR 国際綱領」及び一般社団法人日本マーケティング・リサーチ協会の「マーケティング・リサーチ綱領」を遵守いたしております。



問1. ISO 39001を最初に知ったのはいつごろですか（西暦の年月でご記入ください）

				年			月
--	--	--	--	---	--	--	---

問2-1. ISO 39001を知った情報源は何ですか。（あてはまるものすべて○）

- | | | |
|---------------------|------------|---------|
| 1. 自動車事故対策機構（NASVA） | 5. 講習会 | 9. DM |
| 2. ISO認証会社 | 6. 新聞 | 10. その他 |
| 3. ISOコンサルタント会社 | 7. 専門誌 | （ ） |
| 4. 取引先 | 8. インターネット | |

問2-2. その中で、認証取得のきっかけになった主な情報源は何ですか。（1つだけ○）

- | | | |
|---------------------|------------|---------|
| 1. 自動車事故対策機構（NASVA） | 5. 講習会 | 9. DM |
| 2. ISO認証会社 | 6. 新聞 | 10. その他 |
| 3. ISOコンサルタント会社 | 7. 専門誌 | （ ） |
| 4. 取引先 | 8. インターネット | |

問3. 最初にISO 39001を知った時、認証取得に関してどのように判断されましたか。（1つだけ○）

- | |
|------------------------------------|
| 1. 認証取得を受ける準備をすぐにはじめた |
| 2. 認証を取得することは決めたが、準備をはじめるのに時間がかかった |
| 3. 認証を取得することを悩んだ |

問3で「2準備時間がかかった または 3悩んだ」に○をつけた方にお伺いします

問3-2. それはどうしてですか。（あてはまるものすべて○）

- | | | |
|------------------|---------------------|-------------|
| 1. 認証取得にお金がかかる | 5. 他の規格で間に合う | 9. その他 |
| 2. 維持にお金がかかる | 6. 必要性を感じない | （ ） |
| 3. 人材が不足 | 7. 取引先から要望があるかわからない | 10. 特に理由はない |
| 4. 効果が得られるかわからない | 8. 先に取り組む課題があった | |

問4. ISO 39001の認証取得の準備をはじめた時期は（西暦の年月でご記入ください）

				年			月
--	--	--	--	---	--	--	---

問5. ISO 39001の認証取得された時期は（西暦の年月でご記入ください）

				年		月
--	--	--	--	---	--	---

問6. ISO 39001の取得に関して、コンサルタントの支援を受けましたか。(1つだけ○)

1. コンサルタントの支援を受けた
2. コンサルタントの支援を受けていない

問6で「1支援を受けた」に○をつけた方にお伺いします

問6-2. どちらのコンサルタントですか。

--

全員にお伺いします

問7. ISO 39001の取得までにコンサルタント会社への支払いも含めどれくらいの費用がかかりましたか。

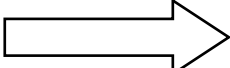
--	--	--	--	--

万円くらい

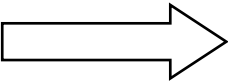
問8. ISO 39001以外に、下記の認証をお持ちですか。(あてはまるものすべて○)

1. ISO 9001 (品質) 4. OHSAS 18001 (労働安全衛生)
2. ISO 14001 (環境) 5. その他 ()
3. ISO 27001 (情報セキュリティ)

問9. ISO 39001の認証取得する前は、取得するメリットとしてどのようなことを期待されて
いましたか。それぞれの項目ごとに期待していた度合いをお答え下さい。(それぞれ1つだけ○)

項目ごとに、横向きそれぞれ1つだけ○ 	期待していた 1はつきりと	期待していた 2何となく	3期待して いなかった
1. 交通事故による死傷者を減少させる	1	2	3
2. 損害保険料を削減させる	1	2	3
3. 交通事故に伴う費用（裁判費用、修繕費など）を削減させる	1	2	3
4. 交通事故に伴う、人的・時間的コストを削減させる	1	2	3
5. 社会から信頼が得られる	1	2	3
6. 取引先の信頼が得られる	1	2	3
7. 第三者認証がアピールとなる	1	2	3
8. 既存取引先とのビジネスを拡大させる	1	2	3
9. 取引先からのクレームを減少させる	1	2	3
10. 新規取引先が得られる	1	2	3
11. 競合他社との差別化につながる	1	2	3
12. 将来的に（認証取得が）取引の前提となる	1	2	3
13. 企業イメージ、ブランドイメージを向上させる	1	2	3
4. 社内の組織体制が整備される 16.	1	2	3
15. 交通安全への取組の見える化が図られる	1	2	3
16. 組織内や他組織とのコミュニケーションが促進される	1	2	3
17. 社内情報が文書化されることにより、作業が標準化され記録が整備される	1	2	3
18. 従業員の満足度やモチベーションをアップさせる	1	2	3
19. 従業員のマナーを向上させる	1	2	3
20. 優れた人材が確保できる	1	2	3
21. 業界内の動向にあわせる	1	2	3
22. 企業の社会的責任が果たせる（CSR）	1	2	3
23. 緊急事態への対応力が向上する（BCP）	1	2	3
上記以外に、ISO 39001の認証取得する前に、取得するメリットとして期待していたことあればご記入下さい 			

問10. RTSマネジメントシステムを構築する上での取組み難易度はいかがでしたか。
をそれぞれの項目ごとに1番近い取組み度合いをお答え下さい。(それぞれ1つだけ○)

項目ごとに、横向きそれぞれ1つだけ○ 	1 困 難 な 取 組	2 普 通 の 取 組	3 容 易 な 取 組
※【 】はISO 39001の章を示す。			
1. 組織及びその状況の理解【4】	1	2	3
2. 利害関係者の特定とそのニーズ及び期待の理解【4】	1	2	3
3. 安全方針の策定【5】	1	2	3
4. 組織の役割、責任及び権限の設定【5】	1	2	3
5. リスク及び機会の検討（リスク評価）【6】	1	2	3
6. RTSパフォーマンスファクターの特定【6】	1	2	3
7. RTS目標及び詳細目標の策定【6】	1	2	3
8. 行動計画の策定【6】	1	2	3
9. 組織の内部及び外部との協議及び連携【7】	1	2	3
10. 資源の検討及び提供【7】	1	2	3
11. 力量の設定【7】	1	2	3
12. 道路交通安全に対する認識【7】	1	2	3
13. コミュニケーション体制の構築【7】	1	2	3
14. 文書類の整備【7】	1	2	3
15. 運用管理の方法【8】	1	2	3
16. 外部委託プロセスの管理【8】	1	2	3
17. 緊急事態対応の手順の作成【8】	1	2	3
18. 緊急事態対応のテストの実施【8】	1	2	3
19. 取組に対する、監視、測定、分析及び評価【9】	1	2	3
20. 関係法令等の順守状況の評価【9】	1	2	3
21. 発生した交通事故に対する原因分析、対策の実施及び有効性の評価【9】	1	2	3
22. ヒヤリハットの収集及び分析【9】	1	2	3
23. 内部監査の実施【9】	1	2	3
24. マネジメントレビューの実施【9】	1	2	3
25. 是正処置の実施及び有効性の確認【10】	1	2	3
26. その他（具体的)	1	2	3

問 1 1. ISO 39001 の認証取得をお客様やお取引様にピーアールしていますか。(1 つだけ○)

- 1. ピーアールしている
- 2. ピーアールの準備をしている
- 3. ピーアールしていない

→ 問 1 1 「1 ピーアールしている または 2 準備している」に○をつけた方にお伺いします

問 1 1-2 どのようにピーアールしていますか。(あてはまるものすべて○)

- 1. ホームページに掲載
- 2. 名刺に掲載
- 3. 新聞や雑誌に掲載
- 4. ニュースリリースや報道発表
- 5. 車両に掲載
- 6. 企業パンフレットに掲載
- 7. 社内に取得したことを掲示
- 8. その他 (具体的に)

引き続き、問 1 1 「1 ピーアールしている または 2 準備している」に○をつけた方にお伺いします

問 1 1-3 ピーアールに対して、お客様やお取引様から何か反応がありましたか。(1 つだけ○)

- 1. あった
- 2. なかった、聞いていない

→ 問 1 1-3 「1 あった」に○をつけた方にお伺いします

問 1 1-4 お客様やお取引様から、具体的にどのような反応がありましたか。できるだけ具体的に
ご記入下さい。

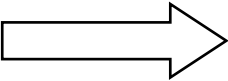
→ 問 1 1 「3 ピーアールしていない」に○をつけた方にお伺いします

問 1 1-5 ピーアールをしていないのはどうしてですか。(あてはまるものすべて○)

- 1. ピーアールの方法がわからない
- 2. 時間がない
- 3. 人材がいない
- 4. ピーアールにかかる予算がない
- 5. ピーアールを目的にしていない
- 6. その他 (具体的に)

全員にお伺いします

問12. ISO 39001認証取得後に、どのような効果がありましたか。それぞれの項目ごとに効果の度合いを認証取得前に期待していたことと比較してお答え下さい。(それぞれ1つだけ○)

項目ごとに、横向きそれぞれ1つだけ○			
	効果があつた	1期待以上の効果があつた	2期待以上の効果があつた
1. 交通事故による死傷者を減少させる	1	2	3
2. 損害保険料を削減させる	1	2	3
3. 交通事故に伴う費用（裁判費用、修繕費など）を削減させる	1	2	3
4. 交通事故に伴う、人的・時間的コストを削減させる	1	2	3
5. 社会から信頼が得られる	1	2	3
6. 取引先の信頼が得られる	1	2	3
7. 第三者認証がアピールとなる	1	2	3
8. 既存取引先とのビジネスを拡大させる	1	2	3
9. 取引先からのクレームを減少させる	1	2	3
10. 新規取引先が得られる	1	2	3
11. 競合他社との差別化につながる	1	2	3
12. 将来的に（認証取得が）取引の前提となる	1	2	3
13. 企業イメージ、ブランドイメージを向上させる	1	2	3
14. 社内の組織体制が整備される	1	2	3
15. 交通安全への取組の見える化が図られる	1	2	3
16. 組織内や他組織とのコミュニケーションが促進される	1	2	3
17. 社内情報が文書化されることにより、作業が標準化され記録が整備される	1	2	3
18. 従業員の満足度やモチベーションをアップさせる	1	2	3
19. 従業員のマナーを向上させる	1	2	3
20. 優れた人材が確保できる	1	2	3
21. 業界内の動向にあわせる	1	2	3
22. 企業の社会的責任が果たせる（CSR）	1	2	3
23. 緊急事態への対応力が向上する（BCP）	1	2	3
24. その他（具体的に ）	1	2	3

問13. ISO 39001認証取得後、具体的にどのような効果がありましたか。下記の項目毎に、具体的に効果があった事例をご記入下さい。効果がない／（まだ）わからない場合は、「なし」または「わからない」とご記入下さい。

交通事故について	(例：重傷事故または有責事故が○件（または○割）減少した 等)
損害保険料について	(例：損害保険料が○割減少した 等)
既存取引先について	(例：既存取引先からの業務が○割増えた 等)
新規取引先について	(例：新規取引先からの業務が○割増えた 等)
社内コミュニケーションについて	(例：社員の意識が変わった。社員が積極的な安全の取り組みをするようになった 等)
トップマネジメントについて	(例：安全に対する投資が○割増えた。トップから安全に対する発言が増えた 等)
その他	

問14. ISO 39001について、ご意見やご要望を、ご自由にご記入下さい。

【貴社についておうかがいします】

F 1. 貴社の業種は（主なものを1つだけ○印）

1. 水産・農林	5. 情報通信業	9. その他運輸業	13. 宿泊、飲食業	17. 自動車整備業
2. 鉱業	6. 道路旅客運送業	10. 卸売、小売業	14. 教育業	18. その他
3. 建設	7. 道路貨物運送業	11. 金融、保険業	15. 医療、福祉業	()
4. 製造業	8. 倉庫業	12. 不動産業	16. 廃棄物処理業	

F 2. 適用範囲の業務は

1. トラックの運行及び運行管理
2. バスの運行及び運行管理
3. ハイヤー・タクシーの運行及び運行管理
4. 社用車(営業車)の運行及び運行管理
5. 顧客車両の運行及び運行管理
6. 顧客車両の維持・管理
7. 道路交通安全管理体制の維持・管理
8. 道路交通安全に貢献する製品の製造
9. 道路交通安全に貢献する商品の販売
10. 道路交通安全に貢献するサービスの提供
11. 施設における道路交通安全管理の維持・管理
12. 救急・医療における道路交通安全の維持・管理
13. 物流委託先における道路交通安全の維持・管理
14. その他 ()

F 2-1. 貴社の全従業員数は（前年度決算時の数字をお答え下さい）（1つだけ○印）

1. 5人以下	2. 6～10人	3. 11～20人	4. 21～30人	5. 31～50人
6. 51～100人	7. 101～200人	8. 201～500人	9. 501～1000人	10. 1001～3000人
11. 3001～5000人	12. 5001～10000人	13. 10001人以上		

F 2-2. そのうち、ISO 39001の適用範囲に含まれる従業員数は（1つだけ○印）

1. 5人以下	2. 6～10人	3. 11～20人	4. 21～30人	5. 31～50人
6. 51～100人	7. 101～200人	8. 201～500人	9. 501～1000人	10. 1001～3000人
11. 3001～5000人	12. 5001～10000人	13. 10001人以上		



F 3－1. 貴社でご使用されている車両数は（前年度決算時の数字をお答え下さい）（1つだけ○印）

1. 0 台(使用車両なし)	2. 1～2 台	3. 3～5 台	4. 6～10 台	5. 11～20 台
6. 21～30 台	7. 31～50 台	8. 51～100 台	9. 101～200 台	10. 201～300 台
11. 301～500 台	12. 501～1000 台	13. 1001 台以上		

F 3－2. そのうち、ISO 39001の適用範囲に含まれる車両数は（1つだけ○印）

1. 0 台(使用車両なし)	2. 1～2 台	3. 3～5 台	4. 6～10 台	5. 11～20 台
6. 21～30 台	7. 31～50 台	8. 51～100 台	9. 101～200 台	10. 201～300 台
11. 301～500 台	12. 501～1000 台	13. 1001 台以上		

F 4. 貴社の年間売上高はおよそいくらですか。（前年度決算時の数字をお答え下さい）

--	--	--	--	--	--	--	--

 百万円

独立行政法人 自動車事故対策機構（NASVA）より、ISO 39001に関するご案内等で、連絡してもよいですか。

1. 連絡してもよい
2. 連絡しないでほしい
3. その他（具体的に

お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

ご回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手は貼っています）に入れて、3月14日（金）までに郵便ポストに投函してください。

